京城日報
五月五日夕刊
(朝夕刊を併せて八頁)
(年中無休刊)大正七年五月六日 第三千八百四十四號(一)
(明治三十九年九月八日第三種郵便物認可)
本紙定價 一部金一錢五厘 一ヶ月金五十錢 前金
廣告料金 七字詰一行金
發行所 京城太平通一丁目 京城日報社
發行兼編輯人 奧田直介
印刷人 小川三之
振替口座京城二〇〇番

◎浦鹽政權勞農に歸す

二日浦鹽勞兵會は市役所にコンミツサルを派遣せり是にて浦鹽政權全部勞農政府の手に歸せり(浦鹽電報)

◎西伯利反革命運動起る

トボリスク、クラスノヤルスク、カムスク、オムスク等に反革命運動起りトボリスクの前露國皇族は獨逸將校嚴重に是れを守護しつゝありとの說あり(浦鹽電報)

◎セバストポール奪はる

獨逸公報に據れば獨軍はセバストポール前面の敵を擊破し同市を占領せりと(倫敦電報)

◎普魯西選擧制討議

複數投票制の通過

普魯西議會は百八十三に對する二百三十五の多數にて選擧法改正案中平等選擧の條項を復活せんとする社會民主黨の動議を否決せしも百八十三に對する二百三十二の多數にて複數投票制を通過せり是が爲め內相フリードベルグ氏は若し形勢にして緩和せられざるに於ては政府は議會を解散す可きを仄せり(アムステルダム電報)

◎獨潛航艇危險減少

米國大藏省は獨逸潛航艇の危險減少したるを以て官營戰爭地帶海上保險率現行百分の三を百分の二に引下げんと目下考慮中也(華盛頓電報)

◎鐵道借款契約調印

濟南、順德間鐵道借款契約日支兩國間に一日調印せらる利子七分手取八七、借款額面二千萬圓なり(上海特電)

▲記者曰 順德は直隸省順德府の首府險要の地河南に通ずる街道にあたる京漢鐵道に沿ふ

◎米棉作付豫想

四日入電=紐育ジョーナル、コマース紙の豫想發表に據れば米國新棉花作付反別は千九百七十年度に比し四分の增加也(大阪特電)

◎山公西侯訪問

四日夜山縣公は西園寺侯訪問會談せり京都にては是を見て政治の問題に結び付け揣摩せるが右は政治に關する密議に非ずと傳へらる(京都電報)

◎鄕津本村兩氏北行

法官會議列席の爲め東上中なりし鄕津京城地方法院檢事正本村七師團參謀長は五日朝釜山通過北行せり(釜山特電)

◉本邦重要鑛產

產出漸次減少

最近に於ける本邦重要鑛產物の採掘狀況如何を徵するに昨大正六年の上半期迄は販路其他特種の事情の下にある硫黃を除くの外は皆時局の影響を受けて

▲相當の活況を呈したる爲め隨て其產出額も前年同期に比し著しき增加を示したるも同九月頃よりは金銀石油等に於ても漸く減少の傾向を呈する至れり併しながら六年中の累計に於ては結局前年同期間の累計に比し左表の如き增減を示し尙大體に於て相當の增額を見居れり(△增▲減)

種類	數量	前年比較增減
金(匁)	[illegible]	[illegible]
銀(匁)	[illegible]	[illegible]
銅(斤)	[illegible]	[illegible]
鐵(噸)	[illegible]	[illegible]
石炭(噸)	[illegible]	[illegible]
石油(石)	[illegible]	[illegible]
硫黃(噸)	[illegible]	[illegible]

然るに本年に入りてより決少の傾向益々甚しく一二兩月の累計に於て前年同期に比し增加したるものは

▲鐵石炭の二品のみにて他は概ね減少を示せり即ち如左

種類	七年一二月累計	前年同期比較增減
金(匁)	[illegible]	[illegible]
銀(匁)	[illegible]	[illegible]
銅(斤)	[illegible]	[illegible]
鐵(噸)	[illegible]	[illegible]
石炭(噸)	[illegible]	[illegible]
石油(石)	[illegible]	[illegible]
硫黃(噸)	[illegible]	[illegible]

而して以上の增減に關する大體の理由は金は元來價格殆ど一定し居るに拘らず近來勞銀其他の生產費非常に昂騰し來りたる關係上生產自然に減少したるに反し銀は市價今尙

▲非常に騰貴し居れるも主として銅鑛等と共に採掘するものなれば銅產額の減少に伴ひ減少し又銅の減少したるは從來銅鑛より採取する外蠶錢よりも相當に生產し來りたるに近來材料となすべき蠶錢漸次減少し來りたると且つ銅價不味のため銅鑛よりの生產減少したるものにして石油は寶井よりの採取減少する割合に新井は採取量增加せざるためなりと云ふ尙鐵の增加は勿論現今に於ける市價奔騰の關係にて石炭の增加も亦價格騰貴にあるは勿論なるも

▲價格の騰貴は需要の增加供給の不足より來りしものと云はんよりは寧ろ輸送の不圓滑に因るものにて各山元には多額の貯炭を擁し居るのみならず一般の需要も既に全盛期を過ぎて漸次降り阪にある等の關係上此上の需要增加は覺束なく隨つて今後に於ける採炭量の增加は左まで多くを期待し難かるべしと

◉英獨財政の比較

獨逸は殆んど破產の狀態に在り

―四月二十日英國藏相の爲したる演說―

獨逸財政當局者の說明は必ずしも其眞相を示さず從て英獨の比較困難なりと雖も暫く獨逸大藏大臣の計數に依れば第一點は支出の增加にして一九一六年六月までに於ける每月の支出額は一億磅の割合なりしも今日は一億八千六百萬磅に上れり是卽ち一日の支出額六百二十五萬磅に相當し殆んど英國と相同じ而も手當其他聯邦諸國及び地方自治體をして負擔せしめたる經費は

▲獨逸の計數中に包含せず第二點は戰費負債なり最後の臨時事件費は六月又は七月までを支へ得る豫定にして之を加ふるときは其臨時事件費總額六十二億磅に達す此金額は尠くとも大藏省證券を增加したること明かなり蓋し「通常收入は平時支出及び國債費の全額を支拂するに足らざればなり一九一六年までは獨逸は新稅を課せず

▲一九一六年度に至り初めて戰時增價稅を課し一回限徵收する資本稅類似のものなり其收入豫算額二億七千五百萬磅なりしも此永久的收入に屬するものにして一七年に於ては尙永久收入に四千二千五百萬磅の增稅を行へり故に豫算額を得たりと假定するも尙開戰後增稅に因る收入の合計三億六千五百萬磅に過ぎず此の增收額は前年度末迄に累加したる負債の

▲利子を支拂ふに足らず蓋し新年度末に於ては其負債の總額少くとも八十億磅に達し其利子少くとも四億磅の外國債償還額少くも四千萬磅を要すればなり又恩給額は英國に比し著しく多額にて或は二億磅とする者あり少くとも本年度末迄には一億五千萬磅に達すべし獨逸戰前の國費一億三千萬磅を加ふるときは國費の總額七億二千萬磅となる

▲然に戰前の歲入は一億五千萬磅に增稅を行ふ宣言し得らるものと假定し增稅額合計一億八千五百萬磅を加へ歲入總額三億三千五百萬磅を超ざるが故に本年度末に於て收入不足額少くとも三億八千五百萬磅を示し殆ど破產の狀態に在りと云ふべし尙獨逸の課稅に付いて注意すべきは戰時增稅を除いては富者階級に對し何等の增稅をなさゞる事なり租稅の大部分は

▲多數國民の負擔すべき間接稅なり獨逸の政治家と雖も償金獲得の希望の外に於て財政の基礎を確乎にするの必要を覺らざるには非ざるべし然るに之をなす能はざる所以は蓋し增稅の爲めに國內に不滿の念を生ぜしむることを欲せざる事其の一原因なりと雖も其の主たる理由は政府に對して勢力を有する富者階級は絕對的に增稅を好まざるにあり(在英某財務官報告)

◉戰爭氣分の普及に努むる米國

川崎總督府技師談

參戰後の米國政府は戰爭の目的を達すべく必死と努力して居る。で一般に戰爭氣分は米國の天地に彌漫して居るやといふに爾でも無い人民は平時の氣分で落著いて居る樣だ

▲多少の例外を認めて此れで政府は種々の方法を以て此の戰爭氣分の普及策を講じて居る即ち米國は敵を罵ひつゝ人民に戰意を煽らねばならぬ、隨分變挺だ民は「軍事外交は政府の仕事で」、人は金を備ひ第一主義を正直に遵奉して居るのだから致方が無い、兵士募集の廣告にも「俸給は間違無く支拂はれる」「俸給は十分なり」「衞生設備は完全なり」と書いてある。チヨツト工場の職工募集などに相應しい文句だ

▲處變れば品變る で之れで無くては壯丁の腑に落ちないのだ、成程經濟本位の國では神聖なる勞働に服するのも銃を執つて國難に赴くのも、其國家的犧牲から何等輕重する處はあるまい三回自由公債の募集公告には「汝の愛する夫、汝の戀人、汝の兄弟、汝の子息を無事に本國に還へさんと欲せば、先づ武器、彈藥、糧食を十分に供給せざる可からず、自由公債は之れが爲めに起るゝものなれば、皆競つて應募せよ」といふ意味のことが書いてあつた

▲怎うして手近な處から市民の心を戰爭に惹き著けやうとして居る、行く〳〵は戰爭氣分が米國の全社會を罩めて、政府と同樣に戰爭に熱中する事に成るであらうが、現在では其處に到る道程に在るのだ、故に從來募りに應じて兵役に就いた者は、相當教育ある靑年が愛國の至誠から奮起するか、然も無くば、少し危險率は高いが之れも神聖なる勞働の一つであるといふ程に心得た勞働者階級から出て居る、社會の總ての階級から馳せ參ずるには大分間がありそうだ、尤も政府は組育を除外して

▲禁酒令を布くや 妻帶者が兵役に就く場合には特別の手當を支給するやら、言はゞ甘味を備へて民心を戰爭に誘ひ寄せるべき施設は、如才無く講じて居るから。米人の自信しつゝある通り、米國兵がドシ〳〵獨佛戰線に送られ、重要なる役割を演ずるの期が案外早く來るかも知れぬ

◉軌條五割高

大正七年度鮮鐵の建設改良に用ふべき八幡製鐵所のレールは價格を理由とし約五割強となす旨當局に通知あり雖然鮮鐵は滿鐵の希望通り交附する由なるも價格の五割高は工事の進捗上に由々しき關係あり目下京城管理局より製鐵所に交涉中なりと

◉勝湖里線開業

勝湖里、里間十七哩餘は既報の如く五日より營業開始をなしたるが尙ほ京城管理局にては別に開通祝賀式等の事を擧行せず本局より別に幹部の出張もなかりし模樣也

◉一年間の朝鮮電報

大正六年四月より大正七年三月に至る一箇年間に於ける朝鮮全道郵便局所の電報取扱通數及び料金調査を聞くに通數は一千三百十二萬六千五百四十六通にして之れを前年に比し三割二分の增加となり

◉浦鹽貿易禁止緩和

關稅行政權は勞兵會に移る

浦鹽に於ける輸出入禁止問題に就ては各商業團體の運動と各官衙の盡力によりて形勢は漸次緩和し臨時積戾し貨物

▽小包郵便物 及び通過貨物の輸出入はその都度許可を受くる事となり當業者も一安堵なしたる模樣なるが茲に不安に堪へざるは稅關と勞兵會との間に於て常に意見の統一を缺ぎ居る事にして例へば前記輸出入禁止に關しても稅關は關稅局の訓令によつて動かざる可らざるに今日に及んで尙ほ何等の通牒にも接せずと然るにハバロフスク

▼極東勞兵會 執行委員會は既に本國政府より輸出入許可の權能を委託せられ同時に浦鹽勞兵會に一任の權能の委託を承認せりとの電報本國より到達したりと(五日某所著情報)

◎九州見物(三)

磐溪生

煤煙十三哩

石炭と水運に惠まれた北九州の工業は非常な勢を以て發展した、市と街とが恣に膨脹して窓に倚つて眼を放てば門司八幡間十四哩の海岸線に沿うて煤煙の街

◎既に肱と肱と をがつしり組合せた處もあれば甲の市と乙の町の甍が呼べば互ひに應へんとして居る處もある、東西に延びる都市は繁昌すると言ふが門司八幡間は東西に發展して尙降々乎として膨脹せんとしつゝある試みに現況を記せば人口七萬二千の門司から西する事僅かに三哩にして業界の覇者たる鈴木が巨額の投資をなしつゝある大里があり更らに二哩乃至四哩毎に

▲人口約四萬の 小倉市あり戶畑あり洞海灣を挾んで戶畑と相對する若松市(人口四萬一千)あり八幡市(人口四萬六千)あり僅々五里內外の處に市制を實施しつゝあるもの四と算ふるに至つては其の繁榮の狀や察す可しである 工業は

▲大里 帝國麥酒會社、大里製粉、製糖所
▲小倉 東京製綱工場、小倉製紙所
▲戶畑若松 明治紡績、明治鑛業…
▲八幡枝光 八幡製鐵所

◎等が重なる者 で就中八幡製鐵所の如きは七十九萬坪の構內敷設の軌條は延長六十九哩從業員二萬三千、一箇年の生產高卅萬噸、今更らに東洋無比と言ふも愚かなりである、斯くの如く澎湃たる玄界の波濤を背景にして工業地としての異常の發展を遂げた門司八幡間十三哩の地は將來海岸線に沿うて帆柱ならぬ煙突が林の如く叢り立ち市街地と市街地は相接し遂ひには前記の

◎各都市を打て 一丸と成し茲に廣袤數方里に達する一大市制を實施するに至るであらうと言はれて居るが、單に車窓から一瞥した丈けでもさうと首肯れる、汽車は煤煙十三哩の地を驅つて居る後の黑煙の天井に覆れた八幡市を出ると始めて空は碧に澄み野は濶々として葉間黍田が綺のやうに展けて來る

◉京畿養豚增殖計畫

京畿道管內に於ける從來の養豚は主として品種劣等なる在來種にして體格輕く晚熟種なるが爲め當局は旣にバークシヤ種を移入し其の改良增殖を獎勵せしも未だ豫定の目的を達するの域に至らざるより更に本年度より改良增殖の五年計畫を樹立せりと而して本道現在の豚數は六萬零三百七十三頭にして內改良種七千三百八十三頭に過ぎざれば豚來五年を期して現在飼養する在來種以上の改良種を增殖せしめんとするにありて之に對しては左方法は(一)共同購入豚の配付(二)種牡豚の配付(三)種牡豚の充實及制限(四)飼養豚數の制限(五)飼料の充實及び改善獎勵(六)豚舍の改良(七)模範農里の造成(八)品評會の開催等に依るものなりと

◉有賀理事動靜

入京中の有賀三井合名會社理事は五日午前…視察正午記者團の主なる代表者を朝鮮ホテルに招待し主人側よりは有賀氏の外高野、笹原、原、田中諸氏出席せるが午後三井物產庭園開きに臨めり夜は在京勅任官を千代本に請宴せり

◉吉田氏銀行經營

朝鮮郵船事務を從事せし吉田秀次郞氏は元山面酒業其他關係事業に從ふが資本金五十萬圓の一銀行を元山に於て經營する目論見あり目下當局に出願中なるが該銀行は主として中流以下の金融機關として經營を續くる方針なりと

◎大田黑氏著發

內地有力の實業家たる大田黑重五郞氏は撫順に於ける化學工業會社の用向を辨ずるため四日午後九時南大門驛著入京一泊し五日午前九時五十分南大門驛發北行撫順に向へり

◉群山

▲運輸問題報告 群山より大連芝罘青島方面に對する米穀輸送航路問題を携へ京仁方面に出張せる群山府協議員中柴商業會議所書記長谷垣嘉市氏は滯留十日間にして要件關係各方面との折衝を遂げ兩氏は一日歸群したるが前記主要問題の外京府を以て調査せる問題を報告發表すべく三日午後二時より群山穀商組合樓上に於て群山商業會議所評議員及び群山米穀商組合員を招集し報告會を開催し大連青島芝罘方面米穀運輸問題に就ては輸出當業者等の方針を凝議決定する處ありき

▲客月穀物檢查 群山所在全羅北道穀物檢查所取扱に係る四月中穀物檢查數量は檢查總數米穀四萬八千七百七十叺內二等米三千七百三十三叺三等米三萬八千三十七叺不合格米七千叺にして大豆檢查數量は總數百二十六叺內三七叺不合格百十九叺なりしと

▲列車增發 從來群山支線列車の發著回數渉なく又た裡里驛に於ける湖南本線金堤芫邑木浦方面との連絡は往復共裡里に於て數時間を空費するの不便を感じ關係各地方人士は之が改善を要望しつゝありしが最近京城方面に旅行せる群山商業會議所谷垣書記長が偶々鐵道運輸課大田出張所長堀井氏に會し龍山に於ては運輸課長安藤氏を訪問せる機會に群山支線列車增發の要を說きたるに兩氏共に既に當局に於ては目下施行中なる湖南線改修工事の落成を俟つて群山裡里間午後一往復列車增發の事に決定し居り同時に木浦大田間列車運行時間も充分短縮せらるべく遲くも來る新穀出廻り時期迄には實施の運びに至る豫定なる由なりと

▲熊本氏來鮮 全北熊本農場主熊本利平氏は過般內地に歸りしが去月三十日來群各方面旅行中なりしが當分滯留すべしと

▲大澤藤十郞氏 群山商業會議所會頭大澤藤十郞氏は久しく內地旅行中なりしが此程歸群したり

◉大邱

▲福岡共進會視察 慶尙北道第一部長吉松憲郞氏は往復三週間の豫定を以て四日午後四時十四分大邱驛發南行列車にて福岡共進會視察の爲め出張を命ぜられ又た松浦書記並に本谷農業技手、松井蠶業、高橋土木の三技手も往復一週間の豫定にて同行出發したり

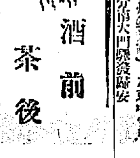
▲商議共進會視察 大邱商業會議所會頭吉村鋼雄、同副會頭堺次郞兩氏は今秋開催さる可き北鮮第二回共進會協贊會の發起に資する目的にて福岡共進會視察の爲め四日午後四時出發せり

▲慶北道廳にては來る二十五日より五日間各府郡島の庶務主任會議を開催すべく其第一日(廿五日)は朝鮮に於ける在鄕軍人の演習召集簡閱點呼に就ての規則發布されたるを以て朝鮮軍司令部より古莊副官出張して兵事々務打合會を開く筈

人事消息

▲佐々木慶南道長官 五日夜晉州著赴任
▲關原武二郞氏(新安州驛長) 入京中の所五日午前九時五十分南大門驛發歸安

酒前茶後



◎戰後我邦に於て、最も急速の進步を爲せしものは、恐らく科學機械類の製造なるべし。戰前迄は、獨、米等よりの輸入ありしもの、今日にては自國の用を滿たすのみならず、支那、濠洲、印度、英國、殊に米國迄も輸出されつゝあり。而して外科用機械に於ける輸出は、先づ八十萬圓、學術實驗用機械は三百五十萬圓、其他科學上の諸機械五十萬圓、全部百六十七萬圓に達す。敢て其の額の多大なりと云ふに非ざるも、此進步は祝すべく、今猶は一層の發達を要すべし。

◎近時外人中には、日本を竹の國と呼ぶものあり。竹は事實日本の特產にて、昨年の如きは、竹細工としての手工品其他、外國に輸出されたるもの二百萬圓、成る程外人より見れば竹の國也。竹は猛に通す、漆變じて竹となるは面白し。

◎露國兵士は、酒に渴して香水を飮み、醉うて管を捲き。賭場にしては、ケレンスキーの肖像付の紙幣を振り回しては、ケレンスキーは行方不明なりと洒落る處は、天眞爛漫にして、寧ろ稚氣愛すべし。

◎內地到る處、腦脊髓膜炎の流行を見る。鮮內未だ罹病者を出さゞるは幸なるも、若し一朝同病の侵染を見んか、我生命を托するに足るの醫師、果して何人かある。傳染病豫防は、貴虎列拉、赤痢、チフス、猩紅熱騷ぎ等に止まらんや、今に於て心すべき也。

◉國民新聞詩苑 國民新聞詩苑は今回結城蓄堂氏を詩宗とし別號を以て…[illegible]…

十一月一日現行

[illegible]

盛んなるお伽講演會＝日出小學校講堂にて＝

第一回京日お伽講演會
孔雀鳩と姉と妹
＝第一回を日出小學校に開催＝
リボンの波
孫に手を曳かれてお爺さんもお婆さんも

既報の如く本社の第一回京日お伽講演會は五日端午節句の當日午後一時より日の出小學校大講堂に於て開會したるが定刻前

◆多數の 少年少女は堂に滿ちリボンの波と學生帽でさしもに廣い講堂も埋まつて仕舞つた中には孫に手を引かれたお婆さんやお爺さんさてはお父さんやお母さん兄さん姉さん達の顏も大分見えて居た、定刻八島柳堂氏の

◆開會の 辭は本社のお伽講演會新設の目的を說きて今後度々皆さんのお集りを催しておためになつて面白い悲しいお話を聞いて頂く心算でありますと滿堂の少年少女達を唸らせ壇を下るや、龍山源光氏登壇、第一に動物愛護の

◆『孔雀鳩』で少年少女達をヒヤ〳〵せしめ、次に敎訓お伽噺をして滿場のお腹をして茶を沸かさせ最後に軍事お伽『姉と妹』でシックリ淚をしぼらしめて大盛會裡に午後三時半閉會せり

市長收監
京都市長大野氏

京都市長大野盛郁氏は四日夜十一時京都監獄に收監されたり(東京特電)

▼市長瀆職か 京都市瀆職事件に關聯大野市長は四日檢事局に召喚し取調を受けたり身邊危し(京都電報)

▼村井吉兵衛氏危し 大野京都市長は市長選擧當時の買收醜跡せしにや四日夜十一時京都監獄に收監されたり斯くなれば村井吉兵衛氏も危し(京都電報)

問題の人
ネ氏北行す
嘗て問題の人たりし瑞典人ネアンダー氏は五日午前十時半安東通過北行せり(安東縣特電)

二木博士自動車に轢かる
三日午後三時醫學博士二木謙三氏は芝愛宕町にて自動車に轢き倒され取敢へず愛宕町東京病院に入院手當中なり全快までには四週間を要すべし(東京特電)

釜山水道漏水
四日八十七萬石增水

[illegible]に漏水而二十八尺を敷寸越して而[illegible]石で全貯水量は百八十六萬七千石で[illegible]も放水路からは一時此數千石の勢で[illegible]釜山も今年は水には苦しまな[illegible]を打て排出された[illegible]城の方も[illegible]崇つた事で[illegible]

警戒解除
五月五日前九時[illegible]京[illegible]由にて準備中なり(釜山支局)[illegible]て署員一同の實彈射擊を擧行する

[illegible]一等(十七名)近藤長三郎、武藤彥[illegible]、江夏[illegible]、岡本功、許南[illegible]、勅使河原雄之助、同のぶ、市川堅太郎、松井辰次郎、[illegible]、古川留吉、中村竹藏、岡本次三郎、[illegible]
[illegible]一郎、[illegible]、同さわよ、同[illegible]、井上きみゑ、[illegible]、金丸[illegible]、大阪[illegible]、[illegible]

毎週ポンチ＝二度ビツクリ＝

(一)田子作 ちいさん若い時分に作つた洋服を着込んで先づ京城見物と出かけました見る物聞くもの皆珍らしく思つた、街を歩いて居る內にちいさんの目に留つたのは夜寫しの寫眞屋であつた

(二)之れは 珍妙々々と言ふので一つ乃公の顏を寫してやれと早速其の寫眞屋に飛び込んだ、椅子に腰かけて大に他所行きのすまし振りを發揮した、寫眞技師はピント宜しき得てマグネシームを發火した、パチンパツ

(三)田子作 ちいさんは一遍に[illegible]さして仕舞つてから、もう乃公の寫眞が出來て居る頃と思て例の寫眞屋に行し先達の寫眞を貰つた寫眞は出來て居るかと言ふと技師曰く『ヘイ眞に結構に出來て御座います』と言ふニタ〳〵笑て居る、ちいさんは出來た寫眞を手に取て見ると兩手を上げて躍つて居るので出子作い[illegible]さん達に驚の妙味につり込まれて寫眞を持ておぢり出しました、[illegible]

東京相撲新番附
五日午前五時發表さる
太刀山玉手山小常陸龍ケ崎の四力士引退して番附削除

東京相撲五月場所の新番附は五日午前五時發表されたるが太刀山、小常陸、玉手山の三名は引退、太刀山は東關、小常陸は秀ノ山となり玉手山は追て大嶽を襲名する筈龍ケ崎は引退眞砂石は死亡の爲めその名を削除せられたり(東京特電)

▲生氣潑剌の新横綱と
新大關新關脇
刮目して見るべき新進力士今場所の活躍振り
＝新番附を見て＝

五月晴の空搖りて響く櫓太鼓の音に滿天下の角力熱をそゝる東京大相撲の夏場所新番附は發表された一覽するに栃木山の張出横綱は既定の事實でその貫祿から言つても强味から言つても當代の

◆四横綱中 の先なるので茲一二場所の內に欄內横綱となることは勝命だらうと思はれる九州山の新大關も西方の千葉ケ崎に對して些の遜色なく新關脇となつた源氏山も努力の賜で役力士として若干立合の拙な憾みはあつても實力から言へば、立派な關脇でその位置を辱かしむるやうなことはあるまい、小結に

◆返り咲き の對馬洋も二敗五勝で同じく二敗七勝の一枚下の源氏に先を越されたのは步が惡いやうだが努力次第では源氏山と取つて代ることは然程難事ではない、四敗五勝の常の花が三役[illegible]んで前頭筆頭に四敗六勝の駒泉が四枚飛で同二枚目に進だのは新進の進境を示した者で此の兩者はこの場所の花形であると同時に餘程

◆努力奮鬪 しなければその位地の保守は難かしからう、誤まつて小結を贏ち得た宮城山、不勉强な兩國、場所運の惡かつた逵ノ矢宇都宮などが何れも四五枚から十枚近く落されたのは是非もないことである、一面頭角を現はし來つた福柳大門岩などの新進の躍は見るべきものがあらう、東方に於て特筆すべきは

◆長年幕內 にその名を錄されてゐた山ツちやん小常陸が引退したのと鶴渡りが幕下に落ちたとである、新入幕は大ノ里に御西山何れも若手のちやき〳〵で御西山は出羽の海の肉親で中等敎育を受けた相當頭のある有望力士である、次ぎに氣の毒なのは勝越してゐながら入幕し損ねた若常陸でこの場所の奮鬪を望む西方では千葉ケ崎が朝潮伊勢ノ濱の

◆二先輩を 拔いて正大關となつたのはその得意察すべく風を靡けて西方の副將としての奮鬪こそ刮目して見るべきものがあらう新關脇の大潮は病未だ癒に復せずこの場所は甚だ不元氣だと聞へられるのは西方にとつて莫大の損失といはねばならぬ、小結たるべき筈だつた快力士眞砂石の死によつて

◆再び小結 の地位に据わる僥倖を得た大鳴門は三役力士たるの實力を有しながら常に奮はぬのは生れつきの小膽が災びするものか、この場所こそ死んだ眞砂石に對しても發奮すべきである、今場所の花形たる三杉磯が三敗六勝で十一枚躍進して前頭二枚目に進んだのは他の何れも不振であつたとはいへ

◆目覺まし いもので、三敗七勝で十三枚躍進して筆頭になつた、彌山と共に素敵である新入幕の矢筈山は逆鉾式のがつしりした力士で前場所の全勝、土佐出身で年も若く勉强次第では三役請合の有望力士である、每場所人氣の中心となる黑瀨川、錦島、大戸平などが揃つて五六枚宛下つてゐるのは氣の毒のやうでもあるが、そこに亦

◆實力本位 の相撲道の面白味が躍動してゐるのを見る、要するに今回の新番附は珍らしく波瀾の尠ない方でその編成にも苦心の跡は全く無いといつてい位ゐだ

◆新入幕力士 右より大ノ里、御西山、矢筈山

新大關と新關脇(上右九州山、左千葉ケ崎、下右源氏山、左大潮)

大正七年夏場所新番附

東の方

横綱	横綱	横綱	大關	關脇	小結	前頭	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
西の海	栃木山	大錦	九州山	源氏山	對馬洋	常の花	駒泉	兩國	一湊	宮城山	八甲山	福柳	大門岩	釋迦嶽	逵の矢	綾川	逆鉾	大の高	宇都宮

同	同	同	幕下前頭	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
大の里	岩木山	御西山	友の浦	鶴渡り	東雲	白岩	紀の川	野州山	時津風	小牛田山	若島	朝綠	太刀光	朝藤	長門洋	今出川	玉柳

▲舊東の方

横綱	横綱	大關	關脇	小結	前頭	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
西の海	大錦	栃木山	九州山	宮城山	對馬洋	逵の矢	源氏山	常の花	逆鉾	駒泉	宇都宮	釋迦嶽	一湊	岩木山	大門岩	大の高	小常陸	八甲山	龍ケ崎

同	同	關脇	前頭	幕下前頭	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
綾川	福柳	兩國	鶴渡	若島	若常陸	朝綠	大の里	東錦	成瀬山	八[illegible]高	白岩	錦洋	羽州山	六泉	國ケ岩	國見崎	殿り	玉柳

西の方

大關	大關	横綱	大關	關脇	小結	前頭	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
朝潮	伊勢の濱	鳳	千葉崎	大潮	大鳴門	彌高山	三杉磯	黑瀬川	錦島	紅葉川	浦の濱	清瀬川	石山	藤の川	大戸平	矢笘山	土州山	明	翠ケ浦

同	同	同	幕下前頭	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
敷島	柏戸	鬼鹿毛	若常陸	錦洋	大岬	殿り	獅子ケ嶽	太刀嵐	出水川	神力	玉の川	金龍	龍ケ峰	八重高	奈良錦	若葉山	花の山

▲舊西の方

横綱	大關	横綱	大關	關脇	小結	前頭	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
鳳	伊勢ノ濱	太刀山	朝潮	大鳴門	千葉崎	錦島	大汐	土州山	大戸平	眞砂石	敷島	紅葉川	柏戸	石山	明	浦の濱	玉手山	三杉磯	彌高山

同	同	同	小結	幕下前頭	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
[illegible]川	鳴門洋(改)	鬼鹿毛	黑瀬川	琴ケ浦	浦の川	武西山	千龍	矢笘山	能ケ翠(修の森改)	友の浦	大岬	日州山	立錦	鳴ケ濱	浪泉	高千穗	第の川	北の山

大阪新番附
東西入替り大錦の新横綱等

大阪相撲新番附は五日午前左の如く發表せられたり、然して初日は十日にして千日前東にて晴天十日間興行すべく來る六日故取締朝日山の墓前祭を行ふ由なり

新東方

横綱	大關	關脇	小結	前頭	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
大錦	小柴川	朝日山	大碇	大泉	不知火	海山	西ノ[illegible]	五十嵐	翠ノ浦	朝千島	三輪ノ[illegible]	大[illegible]	[illegible]	島[illegible]	大[illegible]	朝風

新西方

大關	關脇	小結	前頭	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
[illegible]	日出山	平[illegible]	宮木	錦山	日[illegible]	[illegible]	時ケ嶽	上州山	加古川	若[illegible]	荒嵐	大岩	駒ケ[illegible]	若ノ花	千年川

舊東方

大關	大關	關脇	小結	前頭	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
陣幕	宮城山	六ケ峰(改)	平[illegible]	有若	時の矢	流ケ岩	駒ケ嶽	大[illegible]	時ケ嶽	加古川	玉櫻(改)	貫[illegible]	初[illegible]	上州山	金の花	湊崎	大島

舊西方

小結	前頭	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
小柴川	三輪崎	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

今回の新番附にて最も注意を惹くは大錦の新横綱にして大木戶以來約十年振の横綱なり然して東西入替りとなれる等なり

灯ともし頃

▲先日東京銀座のさる有名な商店から平安北道の某警官宛と云ふ宛名で電報を打つて來た、▲京城郵便局では多分朝鮮總督府の事だらうと思つて配達するとどうも違ふらしい▲北鮮新義州局に照介したが局員の手不足でとんと要領を得ぬ其後數回問合せをした結果やつと平安北道道廳と解つたが▲有名な○○商店ともあらうものが道廳と總督府を間違へるに至つては驚くの外はないと郵便局員は笑つてゐた▲總督府醫院の森安醫長が西洋人が病院を參觀に來ると何よりも先づ第一に炊事場と便所を見るそして此二つが淸潔に出來てゐると非常に感心する▲之と反對に日本人は病室の設備や附屬器械と云つたやうなものは眼に念を入れて見るが便所や炊事場は振り向いても見ぬと

大阪大風
阪神地方は四日正午過より夜に亙り暴風雨にて大阪化學博の裝飾門倒れ負傷ありたり(大阪特電)

巣鴨大火
烈風中七十戶
四日夜十一時東京府下巣鴨駒込より出火烈風中の事とて七十戶の多數灰燼に歸したり(東京特電)

吉林俘虜不穩
浪籍して絶食
兵士非常警戒

吉林俘虜收容所にては五月一日墺國人十七八の煽動にて晌方に不服を唱へ食器及び其他の備品を手當り次第投げとばしあらん限りの狼藉をつくし果ては終日食事を取らず容易ならざる意氣込にすは一大事と一切外出を禁じ所長王中佐部下を督し非常警戒の中に辛うじて其夜を徹したる椿事あり原因は彼等の賄費を廿八圓となしあれど事實は支那兵の七圓以下の食事にも及ばず支那兵が私服を肥やして美酒美食せるを憤激せるなりと依て百方慰撫に努め早速散策を許して二日漸くこれを鎭定したり(吉林)

太平通の小火
五日午後一時二十分頃京城太平通二丁目仲川パン屋の二階土塀七輪の火より發火し室內の諸道具、壁等を燒きたるのみにて常備消防出動即時消し止む

兵器廠支人大同盟休業
賃金値上請求

東京砲兵工廠平壤兵器製造所建築請負淸水組使役支那人夫百二三十名は別項記載の岩橋藏なる者の不始末に關聯し彼が當初雇入の際に於ける契約確實ならざる結果端なくも賃金引上

▼實行を 迫り來壤後滿足なる就業を爲せしことなく本月に入りては殆んど就業を肯んせず寄々密議を凝し不穩の舉動さへ見えたれば同組に於ては嚴重警戒中の處遂に二日三日の兩日愈々同盟休業を敢行せしより平壤憲兵分隊に

▼急報し 同隊より數名の憲兵出張調停の勞を執り漸く四日より就業することゝなりたるが一時は時節柄非常の大騷ぎを爲したりと因に憲兵隊及び淸水組に於ては彼等の舉動に就て警戒怠りなし

▲惡大工が原因
平壤署に捕はれたる平壤兵器製造廠內淸水組下請人川口義一方大工職久留米市生れ岩橋藏(三)は本年三月頃天津に於て川口より雇はれ其折り旅費其他にて七十四圓餘を借受け平壤に於て給料中より返濟すべき約束の處同人は四月二十七日より數日就業せしのみにて去る三十日何れへか

▼逃亡し 結局川口より差引金六十六圓餘を横領し又平壤へ來る際大連に於いて淸水組員三好正幸より支那苦力二百數十名を引率して平壤へ伴れ來る事を賴まれ食費として三十圓を受領し支那苦力には食事を給與せず自分が着服し其儘出發し奉天に於ても監督引率せず遊廓に浸り込み

▼遊蕩に 耽りゐたる爲め苦力は食事も當てがはれざるため其の中百七八十名は奉天より逃亡したれば淸水組は大いに之が爲め約千[illegible]百圓の損害を蒙りたる事あり而して同人は支那部の人夫を引率して各所に渡り歩き來り到る所に於て人夫の食料の立替金なりと稱し川口より十一圓を

▼詐取し たり夫れが爲め兵器支廠の工事に多大の損害を與へたるのみならず支那人に同盟罷工を惹き起さしむるに至りし事發覺し平壤署に於ては行衛捜査中二日午後四時頃同人を逮捕し目下他に餘罪ある見込にて取調中也と(平壤)

□課題募集規定

□募集規程 ▲用紙は端書又は同形の用紙に雅號又は名の外に住所氏名明記の事▲一枚每に五十錢書留券を呈す▲賞は一等[illegible]▲種類の[illegible]

天氣 くもり
▲五月六日 [illegible]

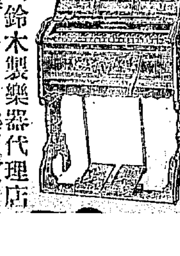
商業登記公告
株式會社[illegible]銀行ハ大正七年五月[illegible]日[illegible]ニ支店ヲ設置シタリ
右大正七年五月[illegible]日登記
京城地方法院[illegible]支廳

商業登記公告
株式會社慶尙[illegible]銀行[illegible]大正七年五月[illegible]府池ノ町四番地[illegible]
右大正七年五月[illegible]日登記
京城地方法院水原支廳

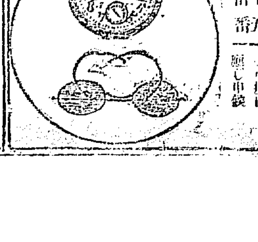
法人登記公告
平澤地方金融組合(變更)監事尹道輔辭任ニ因リ大正七年四月貳拾[illegible]日左記ノ者當選就任ス
京畿道振威郡芙蓉面[illegible]番地 方[illegible]
同郡西面[illegible]番地 朴世輔
京城地方法院平澤出張所

公信株式現物問屋
京城本町[illegible]
[illegible]

本日より江戶生粋の風味佳良の木の芽豆腐出來ますどうか入らして下さい
京城旭町一丁目(電話一〇〇一番)
湯豆腐 かりかね

(目錄進呈)
山葉、鈴木製樂器代理店
各樂器御小賣
京城本町二丁目 振替京城五二一五番
山口樂器店


職業
美麗達近男女誰にも出來る自宅で手工內職休日熟練一日收入一年中要る製品永久[illegible]
以上詳細郵券十錢送れば[illegible]買受く
▲此際各地に特約店募集▼
東京淺草區北三筋町
三星總本店

友助堂
京城南大門通一 電話二九七七番 振替一八九五番

金銀時計 眼鏡指環 各種取揃 時計修理 金用換に 願ひ申候

各蠶種
三月ヨリ九月 毎日出荷
肥後隈府町 吉井蠶種店

…に後飯を頂戴する事が出來る譯だ さい」高遠見の方は四日午前六時 三尺で漏水であるがそれ位は充滿するだらうし此增水量は八十七萬 …警察署には來る七日八日の兩日大新里の元守備隊實彈射擊場に於て…

●連絡船上陸客 四日午前入港高麗丸一二三等客 [illegible]

●戰場から還つた 老兵物語

酒の代に香水

金盡なく妻子まで行衛不明

◆ケレンスキーの洒落◆

エローシカといふ人……之れは恐らく歐洲の戰線で敗度の戰ひに參加し、傷まで負ふて歸つて來た露國の一兵士である、彼は久し振りで故國へ歸つて來たが、未た就職の口も見付かぬ處から以前世話になつてゐた或る邦人の家へ厄介に付く迄と云ふ條件で暫くの厄介になつてゐるのである、年は四十歲と云ふが數々の勞苦と辛酸とは彼を實際の年より老けて見せてゐる、彼は住み馴れた祖國の土地へ歸つて、さも安心したらしい容子で、記者が薦める卷煙草を燻らしながら語り出す『あゝ戰爭！慄やな言葉ですね、思ひ出しても慄とします、レニンが私達の事を思つて吳れるのは好いが戰爭だけはもう懲々した』とさも忌々しげに戰爭と云ふものを心から呪つてゐるらしい。夫れも其の筈である、戰爭に疲れ切つて夢寐にも忘れる事の出來ない

◆懷しい故郷へ歸つて見れば

家は何時か人手に

淋しく可愛い妻子は生活難の爲◆

何處へ行つたか行方知れずになつてゐる。斯うした悲劇は今露國內到る處で繰返へされてゐるのである。彼等の落膽と悲哀は如何ばかりであらう、エローシカも妻子の行方を思つて暗涙に咽んでゐたが軈て氣を更へて又語り出した、曰く『露都でも莫斯科でも物資と食料品は益々缺乏して行くばかりです、大事な酒だつてモウ一滴もありません、けれども酒に醉つた味は忘れられませんから、何か醉へる物は無いかと考へた末出頭では

◆村々で香水を飲み分けて香水が一番醉心地が好い事が◆

アデコロンといふ

解つたので今では盛んに之れを飮んでゐます、過激派兵士などは時々小間物屋や理髮店などへ家宅搜索に出掛けては手當り次第に飮み散してゐます、温厚い者は高い金を出して床屋に賴んで小さい盃に分けて貰らつて飮んでゐます』夫れから彼は尙ほ色々の事を語り續けてゐたが其の中には露人の賭博癖に就いて話したのも有つた、それに依ると

◆彼等の賭博癖は飮酒と同樣で

迚も抑制し切れぬ

しのと見ねて不時ならば◆

位か五十哥位のトランクが四五十留にも勝つてゐるにも拘らず夫れを求めて賭博に耽つてゐるとの事である、尙ほ滑稽なのは賭博の際ケレンスキーの紙幣が現はれると、夫れを受取つた者が不圖何處かへ仕舞ひ込んで『あのケレンスキーが姿を隱した』といつも定まつた樣に此の駄洒落を繰返すのださうである。斯うしてケレンスキーの名は紙幣と共に今は僅かに賭博仲間の諧謔の材料に使はれてゐるのであるとか(哈爾賓)

◎間島の土地熱

◆只同樣の所が坪一圓◆

間島景氣の隆々たるに連れて龍井の地價は無闇矢鱈に煽り上られ目貫の場所は坪十圓以上を呼び少し離られたる場所にても二圓三圓に昇ぼり數年前まで殆んど無價値に等しき場所が昨今は一圓に賣買せらるゝといふ稀有の騰貴を示せり地價の騰貴は其地の向上にして龍井の地價熱は此處白熱點に入り

◆主として鮮人間に◆
賣買激しく地價騰貴の根抵は

多くの疑を有する嫌あり尤も間島景氣の向上は昨年來著しきものにて龍井に於ける地價が之れに伴ふは當然の沙汰なるも近來の煽り方は亂脈を過ぎて滑稽に類するを免れず之れに就て說あり其說によれば間島の輸出期に方りて內地人商人は物資を集むるに鮮人の手を介し契約金を前渡するを例とす然るに滿足に引渡す者は罕にて昨今

◆其紛議百出し◆
領事警察署は是等事件の應接に追はる

あらざるが無論此損害に內地商人の不注意に歸すべきものにて大小段にかゝりたるものにて彼等鮮人を併すときは愕くべき額に上れりとあり所が事件は多く狡猾なる手段は當初の前渡金を正當に使用せずして種々なる口實を設けて横領策を講じ裏面には他の名儀若しくは巧妙なる方法の下に件の前渡金を放出して土地を買煽りたる形跡を有し狡猾なる手段實に驚くべきものありといふ之れによつて見るときは土地熱の一面には斯の如き罪惡潛みおるべきものと知らる(間島)

◎本年流行の 夏の帯と長襦袢

此の間以來の女さん達に流行りの色合や柄模樣を平壤の各呉服店に就て調べて見たが今日は是等の柄に添ふ帯地と長襦袢に就て更に聞くがまゝを記さう(平壤)

涼し氣な裝ひのいろ〳〵

先づ初夏用の帯地として紋付に相應しいものは無論丸帯であるが

◇薄手の糸錦が

◆一般に歡迎されて居る地合は◆

主に白地で之に次では水色地、青磁、淺黄地などである。模樣は一般に高尙なものが歡ばれ銀糸の波や平金の扇面に箔を置いたものを取材として種々高雅なものがある、凝つた粹な方の好みとしては子地に絞りや刺繡を應用して切嵌式に友禪風の模樣を現はしたものゝ抔が流行の粹を極めてゐる。盛夏用ちぢみ絽唐織又は紗唐織の如きは何れも盛夏用流行の代表的逸品である以上は丸帯であるが

◇片側の新流行は

◆友禪羽二重の染帯又は絞りの◆

羽二重、綾、秩父などが持て囃され丸帯より見ると隨分思ひ切つたものが多い、長襦袢としては初夏用には鴇色の地紋ある紋縮緬に金砂子の雲をぼかしに出したるもの等が合嬢向には適してゐる、若い夫人用には白紋縮緬に金の雲が霞をぼかしたものが歡ばれる訪問服になれば友禪縮紗縮緬が肌觸りよく相變らず歡迎されてゐる、盛夏用としては白地の友禪縮緬又は絽に

◇淡泊した墨繪の

◆模樣を涼しげに現はした物◆

などが適當である例へば涼しい風に葉を散らしたり又は草花の模樣に水玉を散らしたもの等は至極優美なものである、縞明石或ひは薄物上布の下に著用するには白麻に水玉の模樣をドロンウオークにて施したものなど著物を透かして坐ろに高絹の涼味を漲へ萬人をして一層其の美を增さしむるだらう

◎東蒙防衞策

支那政府は吉黑兩省の地が露境に接し最も危險地域とせらるゝにより之を安全ならしむるには先づ東蒙の防備を嚴にせざるべからずとなし同地の各要路を內防線として兵を配置するに決し近く參謀部員を派し要地を選定せしむる筈なるが駐兵豫定地點は左の如し(一)洮南小島布爲及び綏衞城の黑龍江に臨める地點に砲兵隊を分駐すこは該地は大山多きに過ぐる爲なり(二)密站莽略と哈爾との間には步兵隊及び警備隊を分駐す蓋し該地方は悉く平野にして直に吉林省に毗連するに因る尙政府は吉林督軍孟恩遠黑龍督軍鮑貴卿に對し意見を徵詢したるが其詳細なる答申を得たる後確定すべし(大連)

◎東京の視察團

東京に於ける化粧品問屋店主團體の滿鮮視察は來る十三日午後一時三十九分平壤驛著列車にて安東縣より平壤に來り三根旅館にて休憩の上市內の觀光を爲す豫定なるが一行の氏名は左の如し(平壤)

田中花王堂、大和堂、木屋商店、東條本店、茂木本店、玉屋合名會社、竹內盛弘堂、加藤丹資、小間物化粧品商報社、兩本秀明(以上東京)奈良原作藏、津野勇吉、飯塚絹次郎、東京石鹸株式會社、野町、伊東胡蝶堂、松尾正助(以上大阪)金子織衞、高畸)川口狩之助(足利)丸技商店(飯田)玉他著松澤常吉商店

◎穀價騰貴の影響は 何程迄に及んだか

◆平南地方に於る調査 副業があつても依然生活難◆

平南各地方に於ける農家經濟に及ぼしたる物價騰貴の影響を調査するに本年の如き穀價著しき昂騰しつゝある際に於ては大農は近年稀れに見る潤澤なる懷ろ合を有し爲めに盛んに土地を買煽る傾向あり從つて地價益々暴騰するの狀態なるが中農に至りては其貯穀大農程多からず穀價の昂騰は放資代金の多からしむると雖も穀物以外の諸物價殊に絹絲布類の相場昂騰せし結果其間餘りに差額を存せざる狀況なり然れども上中の階級に在ては比較的前記の差額多き爲め大農と同じく土地を欲求すること甚だしき傾向あり又小農は他人の所有する耕地のみを耕作し平素多くは地主より金を借り生活を維持せしものなるが近年に至りては副業其他收入の增加あるも最近の物價騰貴は彼等に尠からざる打擊を與へ現在生活難を叫び居るもの頗る多き狀態なりと(平壤)

◎刺し米の矯正

◆釜山に於ける取締法◆

從來朝鮮に於ける慣習として米豆其の他穀物輸送に關しては運送店に於て使用せる仲仕は品質の識別を名として『刺』を入れ而して其の米豆は所謂仲仕の役德として仲仕の收入とせらるゝ傾きありたるが該慣習は漸次是等仲間に於て惡用せられ特に昨年九月八日發布の米豆檢査規則及び大豆檢査規則等に依りて特等より不合格品に至る迄包裝の儘一見して識別し得る事となり同時に從來の惡弊を改善すべく穀物檢査所より一定の『刺』を指定したるに係らず毫も實行の模樣なく益々其の手段は陋劣を極め

大なる刺を使用

する事あり爲めに包裝を破損し且つ發荷主と受荷主との間に感情の衝突等起り且つ運送店としても傍觀するのみにては得意の信用に關するを以て釜山警察署へ之れが善後策に就き具申したるを以て同署にては釜山組外十一組の仲仕代表者を召集し午後更に赤間組外十四組合の運送社代表者を招き協議の上卽時實施すべく左記條項の命令を發して是等の惡慣習を一掃せんと努めたるが以後は其の行爲の大小を問はず嚴重に處罰する方針也

(一)米豆は總て檢査規則に基き包裝せるを以て識別は『刺』を爲さずとも一見して判じ得るを以て一切之れを許さゞる事(二)若し右の場合包裝に依つて識別し能はざる時は已むを得ざるを以て指定されたる『刺』を以て行ふべき事(三)識別の爲め刺を使用して抽出する米豆の量は識別に必要なる範圍にて必ず一勺以下たる事(四)前項の場合にて抽出したる米豆は必ず之れを運送業者に渡し而して運送業者は之れを取り纏めて各荷主へ返還する事(五)刺の大に過ぐるは包裝を破損せしむるを以て警察の指定に依る(直徑四分長さ約五寸)刺を使用する事(釜山)

◎景氣好き浦項

築港ができたり諸工事や何やかや 凄らしき普請が起つたりして

今秋大邱の品評會には附屬水族館を浦項に設けらるゝ事になり一段の景氣を添へて來た此地の狀況を左に記す(大邱)

◇◆入口戶數 慶尙北道迎日郡浦項に於ける內地人の戶口左の如し 三二三戶(男七三三女四六九計一二〇二)

◇◆築港工事 五月一日より築港工事の測量を大川技手の手に著手せられ來八月頃より起工すべしと

◇◆輕鐵線路 大邱山中組の請負にて五月一日頃に於て起工式を行ひ同方面より工程を進むる筈なり

◇◆水利組合 迎日水利組合の水路工事は近く起工することゝなり目下其準備を急ぎつゝありといふ

◇◆面事務所 一箇所谷一千圓以上の工費を計上して新築することゝなり是れ亦目下夫れ〳〵準備中

◇◆小學校舍 六千圓の豫算を以て公立尋常小學校增築の事に決定し近々起工するに至るべしと

◇◆妙な現象 此地は魚の捕れる本場なれど何處の旅館料理店とも魚なく牛鷄肉鷄卵乃至罐詰料理の一點張で不思議に生魚なきは捕れたる魚類は悉ごとく母船より內地其他へ輸送する爲めなりと

◇◆禿山禿嶺 此地一帶二三里四方禿山のみにして森林皆無なれば河川の水量乏しく爲に雨季出水し

◇◆河川氾濫 する事屢々あり故に此の港を砂で埋むる事多きを以て植林をなすは刻下の急なるべし

◇◆且つ風致を添ゆる點に於ても又た漁付林を造る上に於ても此の植林事業は最も喫緊の要あらん

◇◆旅館料亭 とも概して此地は時代後れの感あり土地の粹士諸君は宜しく繼續一番するの必要あらん

◇◆醫者芝居 此の地料理屋組合にては一日より五日まで醫者芝居を催し初日以來連日好人氣なりと

本を補栽したるが爾後毎年繼續さるべしと(大連)

◎東亞蠶絲と朝鮮

交配蠶種普及の目的を以て今回新に設立されたる東亞蠶絲株式會社は三月二十二日發起人會を開催し翌二十三日創立總會を開き直ちに許可申請を爲したるが四月三日付許可ありたるを以て朝鮮方面に於ける交配蠶種普及機關として最近龍山に出張所を設置し更に今回三浪津、大邱、全州、平壤、新義州に出張所を設くべく同社取締役坂口平兵衞氏外二氏は三日鎭南浦に到り同社常任監査役富田儀作氏と種々打合せをなせり因に同社は資本金百萬圓(四分一拂込)にして役員及び相談役は內地各方面の資產家を網羅せりと(平壤)

◎大連に櫻

大連水源地は單に水源池としてのみならず大連附近の觀光地としても價値ある所なるを以て土木課は將來同地を一名所となす見込にて今年櫻樹五千餘

◎慶南泗川の 史蹟新勝地

◆島津侯爵家の建碑◆

海軍中將 東鄕吉太郎氏談

世人は文祿の役に小早川隆景の明軍に對する戰功を賞讃するが泗川で奮戰した島津義弘軍の殊勳を激賞する者は未だ尠い樣である、而して其の論功行賞に於て小早川隆景は名馬一頭なるに對して島津義弘は名刀一振に五萬石の加增があつたのでも之を想像する事が出來る、何しろ僅か五百の手兵を以て數萬の優勢の敵を擊退したのであるから如何に其の功勳の赫々たりしかを知る事ができよう。之に就ては日本外史の著者たる

賴山陽が親しく

九州を遊つて史蹟を尋ねた時に

此の史料を山陽に提供する者が無かつたことが其の大なる原因であらう、此の戰役の記念として島津家では凱旋後年々其の記念日に祭典を行つてゐた。故に現島津侯爵家では當時祖先が明兵の首級三萬八千四百餘を埋葬した唐兵塔の古蹟を買收して一の記念碑を建て

土地ぐるみ總督府へ

寄附する事にしたので來十一日

之が序幕式を行ふ筈である、此の古戰蹟は千五六百坪の平野であつて記念碑の周圍に公園的の運動場を設け且つ櫻樹一千數百本を植栽したのであるから將來慶尙の一大名勝となるであらう(釜山)

演藝案內

稻荷座 本町五丁目 電話二參二八
◉五月四日より晝夜開演午後六時開場 浪花界の壯年奈斗桃中軒雲太郎來る ▲四季之花桃 中軒太郎 ▲塚原卜傳 吉川福松 ▲堀田的坊▲太閤 ▲大和魂 早川彌五門 入場料…

黃金館 電話二三六三七・二三六六
當る五月四日より愈々提供・▲ミラの秘密 ▲滑稽カッセルの逆行 …雷也 全四卷 …

浪花館 明治町二丁目 電話二六〇番
◉五月二日より開演 △新講談神田伯道氏來る …▲落語種々(三福亭千代子)▲家庭人情、大久保利通暗殺事件(東洋軒辰右衞門)▲壯士之鐵腕、星亭…(伯道)
◉入場料は今回に限り破格金拾五錢

大正館 櫻井町 電話八七三
當る五月三日より大奮發提供 △米國ロッキー山の風景 ◎大滑稽『コンクリン販落』全二卷 △立花貞二郎一派出演 ◎新派悲劇『吉丁字』全三卷 ◎冒險活劇『森の奇人』八千呎 △新派悲劇『阿波十郎兵衛』全四卷 …

有樂館 活動寫眞常設館 …電話…五〇五番 …

壽座 京城壽町 電話五七八番 …活動連續劇…全一行

◎新講談の大家 神田伯道(前席浪花節出演) 初日 二日目 三日目 滿員 御禮 浪花館

腦病良藥 レーベン 岡田醫學博士証明 のぼせ引下げの良劑 五十錢 八十五錢 一圓六十錢 三圓 本舖 東京 中南定太郎 各藥店ニアリ

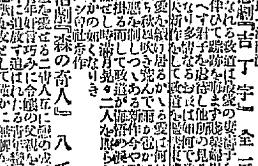
質 (大口歡迎) 黃金町長橋町入口 電話二九一六番 田村質店 商品擔保便利取扱

あせも いんきん たむし はたけ ◎全治して喜び禮狀山の如く參る 一等軍醫吉尾博士先生が多年苦心研究の結果…東京府京橋區…東京藥院…

りん病 消渴で困る方 三錢送れ自宅で秘密に治す妙藥を無代でお教へ致し升 名古屋市南かじや町 武藤龜吉

わきが 特効藥ファーザーを御用ひあれ 價六十錢一圓 京城黃金町三丁目 山田文殊堂藥房 電話二九四九番

優等清酒 一鶴 發賣元 永樂町二丁目 本龍酒店 電話 振替 六四五 京城五二六


名古屋發明會社一手販賣 蠅取器 □柳製專賣品トランク □雨合羽防水布引マント □魔法瓶及中瓶一式 □其他旅行用具一切 京城本町一丁目(電話二三四番) 高木旅行用具店

內科 小兒科 呼吸器病 胃腸病喘息 リユマチス 京城本町二丁目四十五番地 電話二八〇番 山田病院 院主 山田萬作

外科花柳病 內科小兒科 婦人科 京城南山町二丁目 電話三〇六八番 宮崎醫院

醫化學諸器械 K 仁川本町 北島藥店 京城本町 永樂町 北島藥店支店

藥種賣藥卸商

貯蓄預金 元金百圓ニ付日步金九厘 壹錢以上何程ニテモ御預リ申候 株式會社長崎貯蓄銀行代理店 株式會社十八銀行京城支店 同 龍山出張所 諸預金貸付爲替銀行一般ノ業務ハ總テ御便利ニ取扱可申候

直段表 實用經濟向 本場秩父銘仙 縞 格子 絣 物(大明千筋)一反 金八圓前後より十圓位迄 (中柄) 一反 金九圓五六十錢より十一圓位迄 (小柄) 一反 金十圓前後より十三圓位迄 秩父大島(中小柄) 一反 金廿八九圓乃至四十六七圓位迄 ◎送料朝鮮內十二錢外三十錢 ◎御注文の際は男女年齡の別柄向きの御嗜好(縞とか絣なと)及價格御申越し下され候はゞ必ず適當の柄見計ひ御郵送可申上候 織元特約販賣 京城太平町一丁目 京城日報社代理部 電話長六〇〇九(構內十八番) 振替京城三〇〇番

塚原卜傳

第六十六席　悟道軒圓玉口演

神後伊豆の玄關へ參つた侍は大聲で 侍『神後伊豆は在宅か △『ハイ主人は在宿でござるが何方からお出でになりました 侍『此方は瀧山の城代藤井權兵衞の命を蒙り罷り越した、神後伊豆に早々是へ出ろと左樣申せ △『ハ、少々お控下さい』と驚ろいて奥へ飛んで參り △『エ、先生 伊『何んだ △『恐ろしい大風な武士が參りました、伊豆に是へ出ろ、瀧山の城代藤井權兵衞の命を蒙つたものだと大層威張つて居りますがどう致しませう 伊『アヽ左樣か宜しく〳〵お目に懸つてお話をいたす』と小刀を前半に帶挾んで玄關へ立出でまして 伊『貴樣は何處へ參つたのだ 侍『默れ貴樣とは何だ、無禮を申すな、瀧山の城代藤井權兵衞の命を蒙むつて罷り越したる村山大藏、其方が伊豆であるか 伊『我等が神後伊豆であるが、無禮とは片腹痛い、咎め立をするなれば貴樣から先へ咎めなければ相成らん承はれば伊豆は居るか、居るなら是へ出ろなぞ、貴樣は物の言ひやうを知らぬ奴だ、伊豆殿御在宅なれば御目に懸りたい、手前は何と申す者と其方で禮を厚くいたさば此方でも村山氏とか樣とか申すが、伊豆が居るかの之へ出ろとは何といふ不作法だ、貴樣の方で此方を呼捨にいたすから此方でも貴樣を呼捨てするに不思議はない 大『已れ不屆の口を利く奴だ、併し其の咎め立ては跡として、早速其方へ相尋ねる、先達て常州笠間の松原に於て、大勢を手に掛け逐電いたした塚原小太郎藤田權頭の兩人、其方方に匿まひある由を確め、御城代藤井權兵衞樣の命を蒙むり討手に罷り越した早々勝義伯父甥の者を之れへ出せ 伊『左樣なものは居らん 大『居ないと申して相濟むと心得るか、汝が宅に居るに相違ない、出せば宜し、出さんに於ては其分には捨置かんぞ 伊『馬鹿を言へ其分に捨置く捨て置かんは其の方の勝手にしろ、不屆きな事をいふ奴だ、此方は上泉伊勢守の門人神後流の劍術を指南いたす者だ、塚原小太郎は俺の家へ來ないとは言はんが、來たが今は居ないサッサと歸れ〳〵 大『默れ、圍ひ立てをいたす不屆きな奴だ、左樣な事を申せば踏込んで家探しに及んで引立るがどうだ 伊『何だと、コレ乘込んで家探をする、以ての外の事を申す奴だ、此方は今でこそ劍術の指南をいたし居るが、苟も大職冠鎌足公流れを汲む藤原氏の由緒正しき者、汚らはしき木葉役人に、探しをされるやうな左樣な者では無い心得違ひを致すと其分には差置かんぞ 大『汚らはしいとは何んだ 伊『不淨役人だから、汚らはしいといふのだ、長居をいたすと、貴樣達のためにならんぞサッサと歸れ 大『已れ、言はせて置けば奇怪至極の一言、サア猶豫は相成らん、汝から先へ召捕るに依つて覺悟いたせ……ソレ乘り込めツ』と大音に呼ばはる、心得たりと手下の者共群り立つてドッと奥へ踏み込まうといたしまする、神後伊豆之を見て大に怒り 伊『不屆の木葉役人、不禮を働かば其分には捨置かん』と跳り掛つて八九人を手玉に取り、後より乘り込まうとする役人目懸けて投付け、猶も乘込んで參りますから、前半に帶挾んで居た一尺三寸の小刀、鞘を拂ふと見わたるが、右と左へ血烟り諸共六七人をバタ〳〵斬つて落した、上泉の門下に名代の達人神後伊豆でございますから、此の勢ひに驚ろいてソーッと門外へ逃出す、途端に門をドーンと締切り血振ひをなした一刀を持て奥へ這入つて參り 伊『扨門人衆、斯うなつては致方がない一先當地を退散いたす御苦勞だが各々其邊まで何うか同道して貰ひたい 門『エヽ委細承知いたしました、我々先生のお出でなさる所なれば何處までも御供をいたしまする

皮膚科 外科 專門 扇田醫院 京城太平通二丁目 電話一二五八番

旅行中の處歸京從前の通り診療に從事致し候 內科 小兒科 女醫 川崎朋子 京城明治町二丁目(電話長一五〇四番)

五月七日 九星 舊三月廿七日 甲寅 本命九紫 南開 大安

▲九紫●[illegible] ▲一白●[illegible] ▲二黑●[illegible] ▲三碧●[illegible] ▲四綠●[illegible] ▲五黃●[illegible] ▲六白●[illegible] ▲七赤●[illegible] ▲八白●[illegible]

流行燈袴
▲特價金拾圓也▼
▲送料鮮內十二錢外三十錢
◎純毛にして新流行縞物四種
◎世間ありふれたる內地製品にあらず
純英國製にしてシワノヨラヌ事
右非常の好評殊部僅少と相成候間至急御注文願上候
京城太平通り一丁目 京城日報社代理部 電話長二〇〇九番 振替貯金口座三〇八番

▲最新流行帽子▼
春向 ソフト 中折帽子 金二圓より 金六圓迄
パナマ帽子 金一圓より 五圓八十五錢迄
▲送料鮮內十二錢外二十錢
▲鳥打帽其他最新形澤山
◎御取揃へ居り候
御注文の際は柄向(縞とか無地など)色合御嗜好及價格(頭の廻り寸法)御申越被下候はゞ必ず適當の品御計ひ御送付可申上候
京城太平通 京城日報代理部 電話構內十八番 振替京城三〇〇番

呼吸器散 呼吸器丸

本劑の特長
本劑は最新高貴藥を配伍せる祛痰鎭咳の特効藥にして如何に重き患者にても服用せばタンを祛りセキを鎭め胸苦きを和らげ夜分安眠の効を奏す。先一週分試みよ

かゝる時に偉効あり
■息苦しく胸痛む時
■咳出て夜眠られぬ時
■たんに血の混る時
■聲潤れ出でざる時
■のんど腫れ痛む時
■たんせき切れ難き時
價十錢、十五、三十錢、一圓
本舖 大阪心齋橋 東京箱崎町 丹平商會藥房
全國到る處の藥店にあり

贊化病院 京城明治町一丁目 電話二四番
內科 小兒科 入院隨意
毎日五名を限り無料施療す
醫學博士 古城憲治

處方を公開し責任を明かにせる本邦唯一の

◎ミツワ家庭藥

ミツワ家庭藥は內容を祕して徒らに萬能を說くが如き賣藥にあらず

▲內容の祕してある藥を安心して用ひられるか▼

如何なる藥を如何なる分量で調合してあるか分らず隨て責任を明かにせぬ賣藥は如何程効能を吹立ても決して安心して用ひられない。然るにミツワ家庭藥のみは文明的に處方を公開するだけに其處方は無論的確で、一々說明書を添へて、內容の藥の名稱と分量を擧げ、奏効する理由を明瞭に說き、責任を明かにしてあるから、安心して用ひられる。

▲中毒の危險ある藥を安心して用ひられるか▼

藥劑の中には其の性質が劇烈で、往々中毒作用を現はすものがある、元來劇烈でなくても原料藥品の不純、製劑の粗雜、容器の不適等の爲に、意外の中毒を起すことがある、然るにミツワ家庭藥は性質緩和純良効力一定不變の藥品を用ひ、製劑精確容器完全で、中毒の危險は更に無い。

特長

一、處方を公開し內容を明示す。
二、處方的確にして奏効顯著なり。
三、性質劇烈ならず中毒作用の危險更に無し。
四、藥品純良にして効力一定不變なり。
五、製劑精確にして變質の憂なし。
六、容器完全にして風化潮解することなし。
七、包裝嚴重にして携帶至便なり。
八、內用藥は總て錠劑なれば服用容易なり。
九、日常起り易き病に對し汎く應用せらる。
十、價格低廉にして永く保存に耐ふ。

▲變質する藥を安心して用ひられるか▼

如何に純良の藥品を調合したものでも、紙包にして置くと風化潮解して性質が變り無効有害になることがある。然るにミツワ家庭藥は優秀の藥品を撰び精確の方法で製劑し內用藥は總て錠劑とし容器は鑵を用ひ且嚴重に包裝してあるから如何に永く保存しても變質する虞は毫も無い

▲常にミツワ家庭藥を備へねばならぬ▼

怪我してから又病氣に罹つてから藥を求めに行くのでは到底間に合はず不慮の禍を招くことがある斯かる不幸を免れるには一々處方を公開して責任を明かにし、藥品純良製劑精確、容器完全包裝嚴重、變敗する憂なく永久の保存に耐るミツワ家庭藥を平生家庭に必ず備へ置き旅行の時にも忘れずに携帶して早速之を用ふるに限る

ミツワ家庭藥は現代智識階級の要求に應ずる唯一の治病補助機關也

ミツワ石鹼 ミツワ椿油 ミツワ家庭藥 ミツワ人參葡萄酒 ミツワ規那鐵葡萄酒 肝油ドロップス 御園化粧品

發賣元 ◎(登錄商標) 東京市日本橋區橘町四丁目 藥劑、滋養品、石鹼、香粧品、小間物問屋 丸見屋商店 電信略號(○ミヤ) 振替口座東京七一〇番 營業部電話浪花三〇、四四八、四四九、四五〇番

ミツワ家庭藥の効用と定價(內地以外は關稅運賃を加ふ)

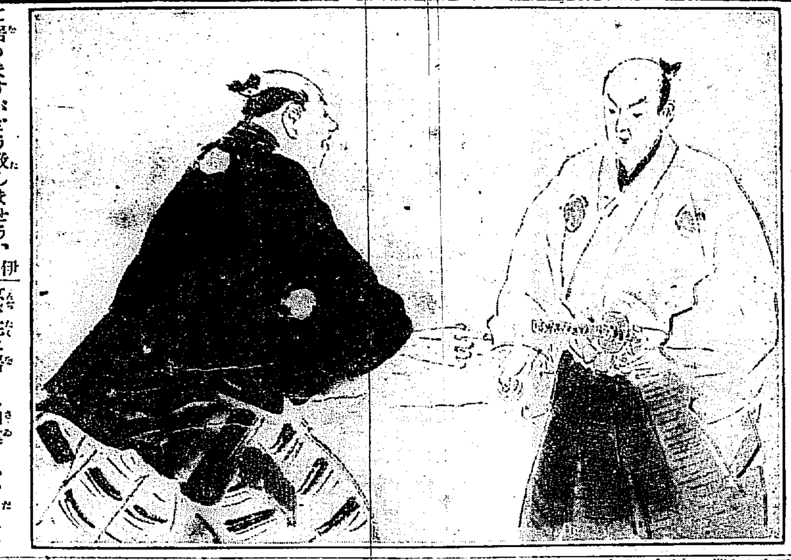
品名	効用	定價
ミツワ人參錠	神經衰弱・腎臟炎・精力減退等	百錠入 五拾錢／五百錠入 貳圓
ミツワ複方人參錠	動脈硬化・腦溢血・心臟病等	百錠入 七拾錢／五百錠入 參圓
ミツワ健胃錠	胃加答兒・胃酸過多・嘔吐胃痛等	三十錠入 拾錢／百錠入 貳拾錢
ミツワ消化錠	總て消化を促すべき場合に用ふ	三十錠入 拾五錢／百廿錠入 五拾錢
ミツワ解毒錠	腸胃を防腐し胃腸病を豫防す	三十錠入 拾五錢／七十錠入 參拾錢
ミツワ緩錠	諸病に因る便秘殊に常習便秘症	四十錠入 拾錢／百廿錠入 貳拾錢
ミツワ止瀉錠	急性傳染病以外諸種の下痢	廿五錠入 貳拾錢／六十錠入 四拾錢
ミツワ驅蟲錠	蛔・蟯・條蟲等腸內寄生蟲驅除及豫防	廿五錠入 十五錢／六十錠入 三十錢
ミツワ清涼劑	口中清涼・心身爽快・口中病豫防	紙袋入 拾錢／壜入 參拾錢
ミツワ解熱錠	感冒・レウマチス・神經痛等	三十錠入 貳拾五錢／百錠入 七十錢
ミツワ祛痰錠	氣管枝炎等呼吸器病一切の祛痰	三十錠入 拾五錢／百錠入 四拾錢
ミツワ鎭靜錠	頭痛・不眠・癲癇等の如き神經病	百錠入 壹圓貳拾錢
ミツワ婦人湯藥	婦人生殖器病・貧血・所謂血の道	八十錠入 五十錢
ミツワ制酸錠	酒の過飮・惡醉・宿醉・惡心・嘔吐	百五十錠入 貳拾錢
ミツワ鎭咳錠	百日咳・喘息・呼吸器病一切鎭咳	百錠入 壹圓
ミツワ點眼液	總て眼瞼及眼球の結膜の諸病	點眼器附壜入 拾錢
ミツワ鼻病液	鼻加答兒・鼻充血・臭鼻症・衄血等	壜入 貳拾五錢
ミツワ含嗽錠	咽頭炎及口中一切の病の洗藥	百五十錠入 貳拾錢
ミツワ齒痛液	齲齒其他一切の齒痛に用ひらる	壜入 拾五錢
ミツワ疼痛液	打撲傷・神經痛・レウマチス等	壜入 參拾錢
ミツワ硼酸錠	眼病・婦人生殖器病の消炎防腐	百五十錠入 貳拾錢
ミツワ撒布藥	汗疹・多汗症・表皮剝脫皮膚糜爛	紙盒入 拾錢
ミツワ泥膏	火傷・濕疹・毛瘡・擦過傷等	硝子器入 拾錢
ミツワ螫蟲液	蚊・蚤・虱等總て蟲に螫されたる場合	壜入 拾錢
ミツワ養毛液	脫毛・雲脂過多を防ぐに用ひらる	壜入 五拾錢
ミツワ痤瘡膏	痤瘡・酒渣鼻・毛瘡・白癬・疥癬等	硝子器入 貳拾錢
ミツワ凍瘡藥	凍瘡・皮膚龜裂・裂水蟲濕・水蟲	硝子器入 拾五錢
ミツワ制痒膏	濕疹・皮膚瘙痒症・火傷・汗疹等	硝子器入 貳拾錢
ミツワ結核錠	結核性の諸症・肋膜炎・腹膜炎	百錠入 壹圓
ミツワ治淋錠	淋疾・膀胱加答兒・尿道加答兒等	カプセル五十個入 壹圓五拾錢
ミツワ淋疾洗滌液	淋毒性尿道炎一般に用ひらる	洗滌器附壜入 五拾錢
ミツワ痔座藥	痔核・痔瘻・肛門裂瘡等痔一切	六個入 參拾錢
ミツワ婦人座藥	白帶下・子宮內外膜炎・膣炎等	六個入 四拾錢
ミツワ腋臭藥	腋臭・會陰臭・手汗・足汗等	壜入 貳拾錢
ミツワ頑癬膏	頑癬殊に陰囊癬・白癬・濕疹等	硝子器入 貳拾錢

醫學士 小山田 謹編 家庭治療法

本書は日常罹り易き疾病の原因症狀等を平易に說き、家庭に於て施し得る治療法を丁寧に敎へ、醫師にかゝるまでの親切な相談相手となるものである。定價金五拾錢。但其半額(郵券代用不苦)を添へ御申込あれば一冊進呈す

汽車

京釜線(南行) 同(北行) 京釜連絡 湖南線(南行) 同(北行) 京義線 同 京仁線 仁川行 京元線(北行) 同(南行)



(年中無休刊　日刊休日翌日祭)　大正七年五月六日　THE KEIJO NIPPO　(明治三十九年九月八日第三種郵便物認可)　第三千四百十四號　(一)

第五版

京城日報

五月六日朝刊
(朝夕刊を併せて八頁)

本紙定價 ▲一部金二錢五厘▲一ヶ月金五十五錢▲郵税一ヶ月金十五錢…
廣告料金 ▲五號活字一行金…
發行兼編輯人　奧田直毅
印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　京城日報社　振替口座京城三〇〇番

支那政界瞥見(下)

次期大總統選擧と各派

○然れども段にしても、此際依然として總理の椅子に安坐するは遂に忍び得ざる處なるべし、されば當然段の希望すべきは副總統の椅子たらずんば非ず。茲に於て安徽直隷兩派の暗鬪の途に脫るべからざるの結果を見るに至るべし。即ち徽派より徐世昌の出でて大總統となり、段祺瑞又た副總統たらんか、直隷派の頭目として且現時の馮大總統は如何之馮國璋一個人の問題に非して直隷派の消長に關する問題也。安徽派としては、此際直隷派を根本的に切り崩したきは山々ならんも、馮總統とても、支那第一流の政治家なるのみならず、李純、陳光遠、王占元等が、段派に歟を通じ居るもの丶如きも、其は恐らくは表面のみにて、彼等の裏面には堅き團結の嚮あるが故に愈々鎌倉と云ふ曉に於ては馮國璋の股肱たるべきは何人も知る處なり。故に徐世昌にして大總統、段祺瑞にして副總統たらんとする、意志の鮮明となり、自派の地盤破滅と云ふが如き、根本的問題に觸るれば、彼等は猛然として蹶起すべく李、陳、王等の結束のみにても、安徽派に取りては大敵たるは勿論なるのみならず、標悍なる王天縦、孫天才、石星川はもとより馮玉祥等は西南の後援に據りて、馮國璋擁護の旗擧げをなさずとも限られず。されば馮國璋にして少くも次期には、副總統の椅子にても得ざれば、直隷派に於ても、勢ひ安徽派に對抗せざるの止なきに至るべし。若し兩派の葛藤にして愈々大ならんか。支那政界は現狀より以上の亂脈を現出するは明也。○北方派に於て斯く直、安兩派の睨み合が大事に至らんとする際し、南方派の陣立如何と見れば、最近傳へらる丶處に依れば伍廷芳は日支共同出兵問題、兵器同盟問題を揭げて、陸榮廷派と、孫逸仙派との間を奔走し、或る斷定の了解を得たりと云ひ。愈々廣東に天津より百名、上海より百三十名、其れに廣東在住の舊國會議員百二十名集合し、正式國會を開き、孫逸仙派の軍政府と、西南各省聯合會とを合併して、護法政府を創立し、次期大總統を選擧の上、正式大總統の名稱の下に、北方に抗すべしと傳へらる。然らば次期大總統選擧の結果は、大總統、副總統の數人當選の珍事を見るやも知れざるが、近時陸榮廷の死去を以て事實とすれば、唐方派の此の陣立には大分の變動あるべし。要するに支那政界は、平生にても混沌たるが上に、次期大總統總選擧と共に、更らに一層混沌の度の增すべき模樣あり。

鮮滿在郷軍人會に望む(八)

帝國在郷軍人會理事　永沼中將講演

引いてやるべき者に手を引かれると云ふ樣な模樣になつて來たから軍人會は之では成らぬと奮發した點もあるのである。斯樣な譯で青年團の發達と軍人會の發達とが相並んで、一方が良くなれば一方も良くなると云ふ樣になつて來た。過日も自分は或る模範的の分隊を見たが、兩者は極めて密接なる關係に在つて、相倚り相助けて居る。併し青年團なるものは、軍人會と違つて、軍隊の臭味を帶びさしては成らない。當事者は此の點には充分注意を拂つて居るが一面に於ては無論兩者が提携して良い青年團から良い壯丁を出す樣にしなければならぬ。良い壯丁が出來て、軍隊から歸り來つて

△良い在郷軍人が多くなれば段々軍人會の素質が向上する即ち循環的の系統を有つて居るのである。されば兩者は常に提携して、軍人會は青年團の爲めには、其の要求に應じてやる事になつて居る。然るに斯樣な事は、此の朝鮮には萌芽も見ねて居らぬ。頗る遺憾と思ふ次第である。京城には多くの青年が居るのであらうが、是等青年の指導機關が一向出來て居らぬと云ふ事は非常な缺點であるから早晩軍人會の如きものが設立されるであらうが其の一日も速かに實現されん事を望んで止まない。在郷軍人會が近時

△異常の發達を遂げた第二の原因は時局の關係である。歐洲戰亂勃發以來、我が國に於ても在郷軍人會を等閑に附してはならぬ事が國民の有識者階級に行渡り其の結果として一層斯會發達の氣運を促進した樣である。自分は十三年振りに滿洲を見たのであるが十年一昔と云ふから各地の發展も定めし著しいものであらうと、大に望を有つて來た。素より發達は爲て居るであらう、併しながら自分の想像したよりは大分程度が低いと思はれる。又滿洲に於ては、我が帝國の威力の及んで居る所と然らざる所とでは非常な違ひがある威力の及ばぬ地方に在りては邦人は何等

△事業を爲す能はずと云ふ有樣で手も足も出ないのである斯かる地方に於ては支那人の如きは日本人を眼中に置かない。現に長春から北に行くと奇々妙々なる現象がある。自分は長春以北の汽車には乘りたくないのである。私が行つた際は支那兵と露兵とが方々に雜居して居たが、是等の兵士が停車場や列車內を警戒して居る夫れに亞米利加人も加はつて居る。私の乘つたのは一等車ではあつたけれども、頗る不潔で、車內には支那の勞働階級の親分見た樣な者が足を伸べてふんばり返つて居る。丁度外國人の紳士らしい人が細君と娘とを連れて室に入らうとしたが、席を取る事が出來ない。列車內には

△露兵も乘込んで居るが彼の支那人を除けて婦人達に席を與へる事を能う爲し得ない。已むなく其の人達は室外に立つて居ると云ふ次第。自分も中に入らうとしたが異樣の臭氣がするのと、其傲慢なる態度に尠からず不快の念が起つた。が併し自分の方は同行の人が喧しく言うて若干席を讓らせ辛うじて腰を掛けたが、兎に角彼の邊には日本の威力は一向及んで居ない。であるから彼の地方に居る同胞に會つて見ると、國の威力が及んで居らないので、何を爲る事も出來ないと百人が百人申して居る。

忠南地主會(一)

槐翁

○我が朝鮮は、農業本位の土地であるだけ、之が改善と否とは、半島の盛衰と、直接關係あることは多言を要しない處である。當局の指導に依り、著しく改善の實を擧げつゝあることは誠に喜ばしいことである。然しながら、眞の成功は、地主の覺醒と小作人の救濟に待たねばならぬ。

○上林忠南道長官は、茲に觀る處があつて、道長官會議の爲め上京を機會として、去る二日京城居住の忠清南道地主の會議を催した。最も有力なる地主百九十九名が、官民有志と共に、一堂に集りて、半島農政改善の爲めに、一大會議を開いたことは、朝鮮初有の盛擧であつて、吾人の最も欣快とする處であつた。

○この百九十九人の地主は、京城有數の貴族、兩班、實業家を網羅して居る譯であるから、彼等は單に忠清南道の地主ではない。實に半島に於ける地主中の地主と云つても、過言ではあるまい。而して此の有力なる會合を、毎年一回以上京城に於て開くことになつたのは、半島農政の上に一新紀元を畫したものとも云へる。

○有體に云へば、從來地主の小作人に對する態度は、極めて不親切と云ふことが出來よう。彼等は其の一切を、土地の差配である舍音に任せて、自己の田地の所在さへ、實地に見たことのないものが大部分を占めて居るから、只だ徳米を取立つる外は、小作人に對して一滴同情の淚もないと云ふ有樣である。

◎朝鮮の小作人位憐れなものはあるまい。地主は挿秧を畢る迄は、小作人に何ものも貸して呉れぬから、その困難は想像も及ばぬ處である。挿秧後には、秋の收穫を抵當として、籾を貸し與ふることもあるが、それには五割と云ふ高い利息が附いて居る。即ち陰曆の五月頃に、舊籾一石を借りれば、九月には、一石五斗を返さねばならぬ三四箇月間の利息が、五割とは、戰慄せずには居られない。

○平年には左程でもないが、若し一朝凶年に遭へば、彼等は、草木根を食として、纔かに餘命を繫がねばならぬ。この可憐な小作人は、今日全半島には幾百萬人居るか分らない。これ單に農事の改善の爲めのみならず、實に重大なる社會問題として決して忽諸に付すべからざる事である。

愛劍趣味(三)

片岡鶴泉

野獸に於ける牙角は天與の武器にして昆蟲魚介の毒液も亦能く敵を防ぐ。獨り人間は天賦の體能を以て自ら護身具を作り得るなり。然して人智識未だ開けざる原始時代に於ては先づ簡易なる石器を以て之を代用し或は骨片を利用したるは東西史跡同一なりとす而して有史以前の石劍は其の形狀恰も矢の根石の大なるが如く本邦東北地方に於て發見せらる丶ものは不格構にして樋標木の如く偶々稍や扁平にして彼の重ね厚き直刀に似たるもあり然るに新羅の都たる慶州に於て發見せられたる石劍は比較的精巧にして其形狀は日本刀の兩刄なるに類し中央の鎬筋は直にして不完全ながら擢柄の上に鍔形さへ有するを見る是れ此の時代の民族中には既に分業法の行はれ或る者は專ら武器を製作して他に供給したる形跡あり其は武器用原石の切斷物や各種石の殘存物に依て之を推知し得べく茲に石器時代にも人智の發達は其の國土の異なるに從て遲速あるを免かれざりしならん西紀前一千八百二十一年夏の禹帝即位の時漸く銅劍を佩用せられ周代に降て青銅の劍流行したりと云ふ左傳に楚人が鄭人に劍を贈りし後ち悔悟して兵器を作らざるの盟を立てさせたりとあり尚ほ文獻によれば唐の太祖高麗を征するに當り鋭利なる鑌鐵劍を打ち揮ひたる記事あり且つ韓及び濊貊は良鐵を出したるに因て觀れば支那は銅製の劍先にして鍊鐵法の創始は韓なりと想像せらる本邦奈良法隆寺寶藏の七星劍は銅製にして隋時代の製作なれば彼の古語拾遺に記せる十握の劍や天の羽々切の劍は或は韓土より日本へ渡りしに非ずやと思はる

松田學鷗驩迎會

學鷗先生、外役三年焉、事訖、自黃州而還矣、四月十四日、忘機吟社同人、啓驩迎會於塔洞公園青木堂、此日、天朗氣晴、聽前紅杏亦微笑、信帶添興一段之深矣、趁約來會者十有八名、新情舊話、藹然于杯盤之間、赤希有之盛會也、先生、詩成乞和、乘筆賡之、

乞高和　松田　學鷗
柳暗花笑又鶯歌。一棹笑船泛綠波。深喜風流追舊約。漢陽城裏故人多。

次韻　成田　魯石
須永今宵醉且歌。玉杯盛酒綠[illegible]波。春風似迓黃州鶴。翩袂舞來詩興多。

同　大垣　金陵
座上春風使我歌。酒杯斂袵動情波。黃州仙客暝來夕。忽地雲煙詩思多。

同　田淵　泰州
欲泛扁船和棹歌。白鷗人又漢江波。詩情畫意風流客。亦是忘機閒話多。

同　藤倉　藤蔭
百花爛漫鳥爭歌。詞客杯中綠酒波。平日不須酬獻事。偏於知己邂逅多。

同　古城　梅溪
花前置酒開新歌。爭鹿功名想伏波。半日清遊風興足。一觴一詠不嫌多。

同　中西　古竹
風暖前庭黃鳥歌。春風吹動一瀧波。櫻頭逐客詩成處。醉墨淋漓興正多。

同　栗原　華陽
恍聽黃州山鶴歌。餘音嫋嫋大江沱。快哉詩酒詩會。座上春風一段多。

同　齋藤　三寅
人歎笑處鶴來歌。春酒盈尊漲綠波。況是淡雲微月夜。團欒如舊復無多。

同　茂泉　鴻堂
圖頭黃鳥又嬌歌。卅把春紅酌綠波。[illegible]外。興情多。

同　安東　翠雲
陽春白雪人歌。欲和徒勞胸捲波。[illegible]無盡酒。夜闌何際興情多。

同　江原　知水
君今吹笛和歌。[illegible]

京日俳句會句錄

四月日於南山本願寺
(十五點)乙里(十二點)笛木黄鐘(九點)[illegible]
若葉(互選)　高點順(以下略)

岸若葉夕映風く澄めり　青閑
四點
[illegible]若葉路を飛び行きぬ　黄丘
三點
雨後の陽や若葉に蝶の動きそむ　乙里
鐘突けば若葉震ふ夕日映ゆ　虎耳
掛茶屋の欄に迫りて若葉哉　芳草樓
鶺鴒の動かし飛べる若葉哉　笛木
水すみ緋鯉底にある若葉哉　乙里
二點
若葉風こし戰ぎ暮るゝ湖の陽も　黄鐘
割るゝよに頭が疼く若葉の晝哉　默齋
白い雲見詰めてあれば若葉哉　同
何を書いたかわからぬ睡い若葉　黄丘
旅僧の頭巾手にもつ若葉哉　愚庵
若葉汐鳴る庭に飼へる兎哉　瓜青
干潟船に石投げて音す月若葉　同
對岸の酒肆築ね行く若葉哉　黄鐘
夜雨晴れて離明るき若葉哉　笛木

幟(席題)
六點
家根越に海暮れつつのる幟哉　黄鐘
五點
月晴れたり幟竿撓む風となり　瓜青
幟下るや飛び〲の家皆灯る　笛木
三點
豊湯獨り浸り出し街は幟の日　瓜青
雄々しくも英氣漲ぎる武者幟　愚庵
ジッとして居られ幟のはためき　芳草樓
二點
並木路の端踏切小屋の幟かな　汀岡
幟まさしく上を風に居て泳ぎ干す　瓜青
空を呑む風にふくれて鯉幟　洗耳
雨後の空澄みて碧きよ鯉幟　汀岡
闇の夜に晴れそ矢車きしりけり　乙里
渡舟出づれば皆が見返る幟かな　同
幟皆卸し竿のみ高し雨の町　洗耳
—一點一句省略—

[illegible]日本新聞[illegible]

◆男女の間なく綱密に糺彈し居れるが米國參戰の精神が充分に周知さるゝと共に獨系米人否[illegible]若オントカレン氏の如きは[illegible]も獨系米人の巢窟なるウヰスコンシン州を遊說して大に排獨熱を鼓吹し[illegible]西の軍閥[illegible]は[illegible]出と大道とより驅逐されたる結果に外ならずして國安維持上に何等の困難を感じ居らず否反つて友邦の國安維持に努力しつゝあり桑港[illegible]猶太とて米國參戰前には[illegible]

◆同胞虐待の爲めに露國を怨むの餘り一子は寧ろ獨逸を援[illegible][illegible]戰を排斥しつゝある[illegible]某は既に關係の各俱樂部より除名せられ社會的に彈劾し去られて無力なり云々因に米國は既に第二回禁輸種目を[illegible]

◉支那人の喧嘩　支那山東省生れ當時龍南初瀬町農姜發然(三六)は去月二十二日午前七時頃同じたる[illegible]しかば光和も之に敗けず同胞を以て相手を毆打し相互に重輕傷を負ひ[illegible]兵分隊に於て[illegible]

[illegible]四時頃身長數尺の猛虎が現はれ同地金昌權の飼養豚一頭を拉去りたれば同地駐在巡査は銃器を携へ追[illegible]

中外新論

▽五月號大飛躍!!
支那の病源と其救治策　社說
◇教育國本主義　文學博士 小西重直
◇戰爭の目的と出兵問題　博士 蜷川新
◇民本主義と教育　高島平三郎
◇婦人の軍事思想　軍佐藤[illegible]將
◇◇新法學博士十一人觀……白頭山人
政界の新人奇才……木舍喇花
日支同盟に對する批判　牧野義智 山川帝國大學總長 東京高等師範學校長
日支教育提携　林長民、湯原女子高等師範學校長
(美文と小說)
春雨の一日　北原白秋
夢想　長谷川時雨
ある女教師　小山內薰
白日の戀　三津木貞子
東京市長としての田尻博士　仲小路、安達謙藏、島田三郎、床次竹次郎諸氏
古人今人伊東巳代治と石田三成
吉野博士の時事論說五篇を讀みて共の根本的誤謬三十五項を指摘す　雅號から見た朝野の諸名士　三井甲之
慶應早稻田兩大學論　早川鐵治
最近の新進作家　岩野泡鳴
浮沈傳＝金鯱雨晒の卷　子子
當世虛榮氣質　宵柳有美
過激派政府の狂暴と列國の被害　社說
振替東京三六〇五番　中外新論社

◎鑛業の智識を得んとする者は見よ
鑛業講習錄　新學期開講入學の絕好期
本校は最新式の通信教授を以て鑛業に關する一般的智識を授け手及び職員に須要なる智識を養成して人物を徹底に啓發して斯界に紹介す
大日本通信鑛山學校朝鮮支部

新學期會員募集
講師＝東京高等工業學校教官執筆
機械講義　一年卒業●會費一ヶ月四拾錢
微積學、發動機、喞筒、齒車、金剛砂砥石、電氣工學、製圖、物理數學等凡て機械工に必要の學科を平易懇切に講述せり
建築講義　一年卒業●會費一ヶ月四十錢
日本西洋家屋構造より規矩法建築製圖、材料、構造強弱等大工及び請負業者の徒弟に適切の科目を說述せり
電氣工學　一年卒業●會費一ヶ月五十錢
電氣主任技術者受驗四五級程度にて試驗科目を網羅す說明平易懇篤なり電業者の參考に最も適切也
應用化學　一年半卒業●會費一ヶ月四十五錢
有機、無機、化學機械、製造工業、分析、電氣化學諸等何れも時勢の要求に應じたる科目を懇篤に講ず
見本　見よ　東京市小石川區表町　振替東京六一八〇番　大日本工業學會

川北製モートル　半馬力以上二百馬力マデ在庫豐富
其他電氣機械器具販賣
九州電氣軌道株式會社　九州水力電氣株式會社　專屬代理店
株式會社川北電氣企業社(大阪本店資本金參百萬圓)
小倉出張所　九州小倉市島町三丁目電話六八
拾五馬力以下ノモノハ各電氣會社ニテ試驗濟ノ上納品シ拾五馬力以上ノモノハ試驗ノ際技師立會シ納入ス

建築陶器並に衛生工事材料一式
手洗並に洗面器附屬金物類
和洋便器
直輸入及製作販賣
京都　富永製作所
朝鮮代理店　建築材料　石田商店
京城黄金町(電話二一六一番)

京城電氣會社製特約販賣
コールタール
龍山漢江通り八　電話四九番　金物商　島田忠作商店

日鮮會話精通
朝鮮督府裁判所書記兼通譯生　晉成商業學校講師總督
西村眞太郎著
袖珍總クロース頭美本　七百餘頁　定價金壹圓參拾錢
一、世に朝鮮語の會話に精通せられむとする人士は必ず本書を購求せられよ
一、殊に同氏の前著「朝鮮語會話」を研究せられし人士に取りては必讀の續篇とす
一、本書の內容は貧弱ならず試みに其の一端を示せば
イ、單語の數は實に八千以上なり
ロ、難解の副詞に適譯を附したるもののみにても五百とす
ハ、內鮮人間に膾炙せる俚諺の適譯計六百
ニ、譯方正確にして且つ嶄新
一、本書は各學校教師及學生各裁判所警察官署通譯生銀行會社並に講習會に對し宿年の渇望を充すに足る良著たり幸に一本を机上に載せて御愛讀の榮を賜らむことを希ふ
發行所　京城太平通一丁目　振替京城三〇〇番　京城日報社代理部
取次所　京城本町一丁目　大阪屋號

竹內ペントを知らずして金庫を語る勿れ

京城本町　熊平支店　電話長六二四番　振替京城二二二五番

◎米國木船建造新契約

船舶局は更に四千五百噸級の木造船二百隻及び大型曳船二十五隻の建造契約を許可したるが目下建造中或は建造契約濟の木造船數は今や五百八十隻に達せり(華盛頓電報)

◎米國無限徵兵要求

米國陸相ベーカ氏は下院軍事委員會に臨み無制限に兵員徵募を爲し得る樣承認を求めたり氏は曰く吾人は兵員の武裝及び輸送の爲めに發揮し得る吾人の能力其物を以て唯一の制限と爲さんと(華盛頓電報)

◎愛蘭事務大臣更任
擾亂續發の形勢靜まる

エドワードショート氏はデューク氏に代り愛蘭事務大臣に任ぜられたりショート氏は多年愛蘭自治案主張者たり且つ同地徵兵法施行に對し熱烈なる反對論者なるを以て愛蘭自治派の歡迎を受け一時擾亂の續出を氣遣はれし形勢も頓に鎮靜せり(紐育電報)

◎獨近く糧食減量乎

獨逸糧食管理局長フォン、ワルドウは帝國議會の委員會に於て獨逸政府は近く肉類馬鈴薯及び麵麭の定量を更に減ずるに至る可しと述べたり(コーペンハーゲン電報)

◎聯合軍の接觸完し

佛軍司令部附通信員報=獨軍攻擊の結果聯合軍隊は未曾有の接觸を來し今や獨軍が突破を試み得可き連鎖地點無し、英佛兩軍の接觸は今や完成せり敵は今次の戰鬪に百八十六箇師團を動かしたるを以て其人員に於て敵が既に戰線に立たしめたるは二百五十萬人にして其損害は三十五萬人なる可し(倫敦電報)

◎對露聯合干涉接近說

華盛頓に於ける露、英、佛及び日本の各代表者の一意見を徵するに露國に對する聯合干涉の機は今や接近せるが如し米國に於ける過去數箇月間に於ける同問題に對する一般の感情は全く一變し華盛頓政府當局の意嚮も亦全く變更し目下唯干涉の形式を如何にするかの問題が右干涉を遲延せしめつゝある唯一の原因なりと傳へらる(華盛頓電報)

◎レニン軍獨軍攻擊

獨逸新聞の所報に據ればクリミヤに於けるレニン政府派は各列車に武裝を施しテオドシヤとドランコイとの間に於て銃砲に依り獨軍を必死に攻擊しつゝあり(ツーリヒ電報)

◎露軍獨逸人虐殺說

獨逸新聞に據ればクリミアに於けるレニン政府軍は獨逸人を虐殺しつゝありと(桑港電報)

◎商業會代表者
段總理訪問

支那各省商業會聯合代表者は三日午後段總理を訪問し南北妥協の必要を陳情せるに段氏は之れに對し南北に統一無く兵火長引くの已むなきに至れるは遺憾なり南方誠意あらば何時にても妥協の交涉に應ず可き旨述べたり(北京特電)

◎全國青年聯合大會

第一回全國青年聯合大會は五日午前八時より東京帝國大學法科大學講堂にて開會、來賓には後藤、水野、岡田、仲小路、大島、加藤

各大臣等其他數十名、會員八百餘名在鄕軍人二百五十餘名參集一木中部理事開會の辭、來賓の祝辭、高柳少將、田尻博士、安保海軍少將等の講話あり後宣言書を決議し午後五時散會せり(東京特電)

◎支那記者團一行

日本觀光支那記者團一行二十五名は五日午後七時著連同七時半より淡路町共和樓に於ける官民有志の歡迎會に列席大和ホテルに投宿せり六日市中觀光の上同午後八時發北行歸途に就く筈也(大連特電)

◎支那對外貿易
輸出入十億餘

大正六年に於ける支那の對外貿易額は輸入五億四千九百五十一萬八千七百七十四兩輸出四億六千二百九十三萬千六百三十兩總計十億千二百四十五萬四百四兩にして八千六百五十八萬餘兩の輸入超過を示せり之を前年に對比するときは輸出に於て千八百八十六萬兩を減少したるも輸入に於て三千三百萬兩を增加したる爲め總額に於て千四百二十四萬六千四十三兩の增加を見空前の盛況を呈せり而して支那の對外貿易は每年

▲著しき輸入超過を示し大正三年の如き歐洲戰亂の影響を受け二億萬兩以上の輸入超過なりしが漸次輸出入額の差を減じ大正五年に於ては僅に三千四百萬兩に下りしも大正六年に於ては輸入增加に反し輸出減少のため八千六百萬兩の超過を見るに至れり其對外貿易を通觀するに輸入に付きては單に價額に於て增加せるのみならず其の數量に於ても盛況を呈したり然れども輸出においては茶及び胡麻種子の輸出激減したるため千數百萬兩の減退を見たり大正六年支那對外貿易は

▲歐洲戰亂に依る交戰國との通商杜絕し輸出入減少船舶不足運賃暴騰並に國內における動亂等幾多の故障ありしにも拘らず總じて活躍せる氣配を示せり支那對外貿易上第一位を占るものは大正四年以前においては常に香港にして日本第二位に在りしが大正五年以後日本第一を占むるに至り大正六年も亦た香港二億七千四百萬兩に對し日本は三億二千七百萬兩の成績を舉げたり之れ日本よりの輸入增加に依るものにして即ち

▲日本品が歐米品に代り支那市場に活躍するを示すものにて第三位は米國にして英本國、露西亞、印度、佛蘭西等之に次ぐの順序なりとす(在上海有吉總領事報告)

◎支那栽培問題
棉花の自給

棉花の自給策に關しては我政府に於ても內地の栽培を獎勵すると共に夙に支那大陸に着眼し目下技師を同地に派遣し只管調査に從事せしめ其の結果に因り方針を定めんとするもの〻如きが紡績聯合會員中にも富士瓦斯紡績の和田豊治氏は

▲操短繼續問題に就き來阪したるを機とし日本棉花社長喜多又藏氏其他棉業者と意見の交換をなしたる由にて未だ具體的の成案を得ざるも民間棉業者の合同事業となさんとするもの〻如し而して支那有力者中には梁士詒を首め北京官界にも土地を提供し熱心に出資を求めんとしつゝあるも支那紡績は現今百廿萬錘を運轉し本年中增錘計畫中のものは天津、青島、大連、濟南等の各地を合して六十萬錘に上り尚ほ

▲前途發展せんとしつゝあるに對し支那棉花現今の生產年額四百萬擔中二百萬擔は紡績以外に消費され殘額二百萬擔(內本邦にも輸出さる)の外印棉輸入年額七十萬擔を消費しつゝあれば今後新に支那內地に栽培し收穫豫想百二十萬俵(テキサス州の約二倍)を增收し得るも支那紡績の大發展と共に其消費に振當てられ本邦紡績の恩惠を蒙る數量僅少に終らざるかは頗る考慮を要すべき點なるが一部棉業者中には此種事業の性質として國家自ら經營し試作の結果

▲收支計算明かとなるに至り初めて民間の營利事業に移すべきものなりとの意見をなすものあり要するに本問題は漸く進捗せんとしつゝあれば近く具體化するに至るべしと(大阪)

◎露國の反動現象
過激派の前途危し=某露國通談

曩に突として露國の帝政運動を報じ來り革命の反動現象として世人の注目を惹く所ありしが今又西伯利に於ける反革命運動說傳へらるゝに至れるが這は當然惹起さる可き問題として識者の間に認識せらるゝ所なるが如し右に就き某露國通は語つて曰く過激派政府の不信なる行動漸く世上に流布さるゝと共に國民のレニン一派に對する

▲信用漸次地を拂ひつゝあるは疑ふべからざる所なると同時に帝政運動も劾を卽座に奏する能はずとするも有り得べき事と考へらる聖覺レニン政府の遣口に倦いた國民の中には尚是れ以上に過激的即ち無政府主義を持つものと一方之に反するものとの二潮流現はれて此二潮流が大なる潛勢力となりて流れて居るが爲

▲今回の帝政運動は其潮流の中の後者が著しく極端に現はれたものと見て可なり併し此運動を露都に起すに就て如何にレニン政府の兵力の中心が去りしかと云ふ事を窺ふに足るレニン一派が相當の軍隊と資金とを有するに對し現今露都には過去の軍隊は解散してレニン政府の募集したる一個無定見の貲金に

▲眩める赤衞軍のみである彼等は必ずや金力に靡いて居るが一方帝政運動にも大に力を致した事ならん勿論其資金は獨逸より供給せられて居る事は想像するに難からず若し運動の黑幕が聯合國でありと假定すれば勿論成立たぬ事は明かなるが獨逸の後援ある事を思へば資金も軍隊も之に加はつて其完成を進むる事は出來得べし

▲此結果として レニン政府は一時莫斯科にあつて之と對抗する事ありても結局何かの片附に迫出され遂に過激派の主義は中心地より跡を斷つ事にならう先年ケレンスキー政府成立の際聯合國は共和制を承認したのであるから其行掛上レニンを助けると云ても口だけで實行は不可能であるドヽの詰りは遂に聯合國の板挾みになつて叩き潰されて了うであらう

◎朝郵二千噸船註文

朝鮮郵船會社にては本年より開航せし日本海橫斷航路就航船として二千噸級船を內地造船所に註文せんとの意あり各造船所に對し交涉中なりしも何分目下は一方鐵の不足あり一方船價暴騰せし際會し居る事とて容易に新船の建造を引受くる造船所を見出し得ざりしが最近に至り神戶川崎造船所にて新造可能の情報あり右に付原田朝郵會長は三日京城發東上の途五日朝神戶下車川崎造船所との間に新造船註文の契約をなす筈なるも其竣功期は時節柄到底短日月に出來すべくもあらず先づ大正八年七八月頃の見當なりと尙ほ日本海橫斷航路は右新造船の廻航まで平環丸を就航せしむるか若くは他に傭船をなすかは目下の所確定し居らざる模樣なり

◎咸鏡線工事
七年度分認可申請中

滿鐵京管局工務課にては大正七年より着手すべき咸鏡線南北の建設工事計畫に付總督府の命令により先般來工事實施計畫立案中なりし所最近其の主要部分出來せしを以て工事實施の認可申請を總督府に伺出中なり右に付總督府にては該認可の手續きをなす順序となり居れるが該調査は短時日には終了せざるべく結局その認可の指令は約一月位遲るべき形勢なれば工事の入札並に起工等は六月より七月に入らん尙ほ本年の鮮鐵建設費割當ては多額ならざる由なり

大阪財界便り

▲綿糸出來高と需要 紡績聯合會調査によれば前年中に於ける本邦各紡績會社の綿絲出來高は七千三百零四本に對し百九十二萬三千八百四十一梱半にして內織布用原絲需要高は三十五萬七千三百梱にして輸移出高は四十七萬八百五十二梱內地市場供給高は百九萬五千六百八十九梱半なりと運轉錘數一個月平均二百八十四萬

▲製粉は强保合 製粉界は目下端境期なるを以て其の原料著しく拂底し爲めに最近二十五圓七八十錢見當を持しつゝあるの關係上製粉界の强調を呈するは自然の數にして二等粉五六月もの五圓四十錢と强保合を呈し居れり從つて輸出商談も殆んどなしと

▲北海傭船强調 近海傭船界は遠洋航路に比して船腹の割合に潤澤にして傭船料さへ好くば船腹を提供せんと氣構ふる船主多きも現下の運賃標準門司濱十一圓以下にては市場に於ける傭船相場の運賃に比して餘程高値にあるも近々北海道方面の出荷期たるを以て同方面への船腹尙多大に必要なるを以て同方面への傭船料は頗る强調にて既に二十圓を突破せり

▲人肥販賣革新 從來人造肥料の販賣方法は信用を基礎として代理店制度を採用されつゝある爲め各社ともに販賣政策上に於ける對代理店關係の弊多く困憊しつゝあるの實情に鑑み識者に於て市場制度によるを可とするの主張時代の要求として近來頓に多きを加へるに至りたれども先年斯界の不況の際に於て創立古き人肥製造所の代理店關係に於て貸掛金を有する結果今直ちに之を市場制度に改むるに於ては其債權の取立容易ならざるが故に口に之れを主張すると雖も事實に於て實行難の狀態にあり肥料販賣方法に關しての懸案となり居れるが大阪化學肥料にては時代の要求としてせめては自社の代理店丈けにても市場制度に近かるべき方法を採用するが斯界に貢獻する所以なりとて此程之れが方法を採用するに至りたるを以て同社の販賣方法改革は宿弊多き人肥販賣方法の一端を破壞するに至りたるものなれば軈ては之れを動機に漸次肥料販賣方法改善の實を擧げんとするもの〻如し(大阪支局)

◎米鐵輸出會社計畫

永登浦成業社社長賀田金三郎同社員小笠原義雄蓬萊町二丁目精米業天日常次郎の三氏は資金五十萬圓にて鮮國內精米輸出の目的を以て株式會社創立の計畫中也との說あり

◎貨車五輛出庫

滿鐵京管局草梁分工場にて製作中の有蓋貨車六十輛の內五輛落成出庫せり

◎平南春蠶豫想

平安南道に於ける本年の春蠶は昨年の繭價高かりし爲め大に氣勢を煽られ其飼育戶數掃立も共に增加したると付多分一萬七千石內外の收繭高を示すべく前年より約一割五分位の增收見込也

◎大正水利竣工式

平安北道龍川郡大正水利組合の水利工事竝に不二農場竣工式は昨年以來の計畫なりしが愈々來る五月二十七日を以て舉行の豫定なりと

◎畜產組合認可

平安北道碧潼郡畜產同業組合設置の件は張(?)金秉涉外七名より認可申請中の處五月二日附認可ありたり▲同道熙川郡畜產同業組合設置の件は李熙柱外四名より認可申請中の處五月二日附認可ありたり▲同道宣川郡畜產同業組合設置の件は桂晚謨外八名より認可申請中の處五月二日附認可ありたり

百聞百種

島村軍令部長が近頃所謂九博士の出兵論を評して▲日露當時の出兵論に比べると氣魄にも乏しく光焰も足らない▲アレでは天下人心を作興するには不十分である▲先づ發起人に對する義理合ひ一遍の立論だねと云つたさうだ▲處で此評が何時か出兵論者の耳に入ると無論聞き流しには仕て置かぬ連中忽ち躍起となつて▲提督惜むらくは吾等の心事を知らず當年の東鄉已に老ひ帷幕の謀將又盲たりと直に一矢を報いたとの事▲出兵論者は何處迄も鼻息が荒いとは第三者の評▲外國人と云へば誰でも學者の樣に思ふ人も多いが却々さうとのみは參らぬ▲米國內務卿レイン氏の調査によると千九百十年米國で滿十才以上の無學者が五百五十一萬六千百六十三人ある▲此中四百六十萬人は二十歲以上の男子であつて當局の見積りでは今年の徵兵適齡者中文盲者が七十萬人は居る相な▲其處で米國では丁年以上の文盲者を敎育するに今度其費用の支出を議會に提出するとか▲日本の適齡者には花柳病患者が多くつて心ある者は心痛して居るが▲文盲の多いのも大分困りものだらう

拂下 龍山陸軍倉庫 碎米 詳細ハ五月三日以降朝鮮官報ニアリ

最新刊

書名	著者	定價
天然生活法	額田豊講話	定價八十五錢
スピノザ哲學大系(エチカ)	小尾範治譯	二、五〇
西伯利亞	野中春洋	一、八〇
[illegible]心理研究	日本心理學會	一、五〇
胎內教育	服部北溟	一、二〇
比較研究廿大强健法	加藤美倫	一、二〇
刀工總覽	本阿彌光遜・室津鯨太郎	一、五〇
邦人新發展地として北ボルネオ	三穗五郎	一、五〇
源氏物語情話	吉井勇著	定價九十錢
最新通用の秘訣	吉原富三郎	八五
項羽と劉邦	長與善郎	八〇
强敵獨逸	同部撰治譯	七五
大正七年教育年鑑	帝國教育會	六五
閑更七人男	浪上前玉演	三五
最新朝鮮地理	京城日報發行	二、〇〇
大正七年驛區一覽	朝鮮總督府編	七〇
朝鮮諸官廳受驗者必攜法律問答	坂上網吉	四〇
同 朝鮮公文解釋	安達大壽計	四〇
同 朝鮮行政法規大意		各四〇

朝鮮鐵道旅行案內 滿鐵京城管理局編 定價七十五錢

大阪屋號 京城本町通六八四、二〇八六振京城二五七三

無敵 **糊の素** 水で溶けば糊になりそして腐らずかたまらず十錢の一袋で一升の糊が出來る頗る品見本は特約はハガキ送れ 東京山手田端驛上發明元安積商行

總監部御認可、衛生無害 室內の空氣中に撒布せば蠅は十分間にして死す 戶外に出アラユル害虫に有効 全鮮一手引請捌元 京城南米倉町六番前 **島田藥房** ▲各地藥店雜貨店に販賣す ▲特約店及行商希望の方照會乞

京日案內 普通一回前金五十錢 番外一回前金壹錢

◎電話讓り物 京城明治町二ノ三二有本 電話二五一九番へ 51

番外 牛乳配達夫至急入用年齡二十以上三十以下希望者來談アレ京城西大門外冷洞東洋牧場電話九三六 55

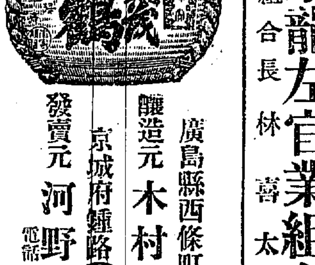
集金兼外交員採用希望者履歷書携帶午前中本人來談保證人要す 長谷川町七六 京城殖產會 50

勸業債券高價買入 市外は御一報乞ふ即時返信す 京城太平通一ノ三 電二七九三番 朝鮮產業社 54

◎**養鷄養豚** 種禽種豚種卵其他 京城東大門外東廟橋松林內 **大島農園** 電話九八九番 45

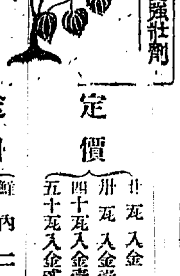
齋藤孝 不都合の行爲あり解雇す 京城南大門通三丁目卅二 日本國債債券會社 朝鮮總支部 40

左官賃金値上廣告
今般物價騰貴に伴ひ組合會議決議の上五月一日より左官賃金左の通り相定候也
一日 賃金 金二圓二十錢也
大正七年五月一日
京龍左官業組合 組合長 林喜太郎

優等清酒


廣島縣西條町 釀造元 木村靜彥
京城府鍾路(中央市場) 發賣元 河野酒店 電話三二〇八番

資本金 貳千貳百七拾萬圓
積立金 壹千貳百貳拾萬圓
總預金 貳億貳千六百萬圓
株式會社 **第一銀行** 京城支店 京城本町二丁目 振替貯金京城一〇一一番 電話二三一七番
頭取 佐々木勇之助 支配人 西村道彥

淫羊藿エキス 人參ニ優ル滋養强壯劑 通稱 三枝九葉草エキス

定價 廿瓦入金壹圓 卌瓦入金壹圓五十錢 四十瓦入金壹圓九十錢 五十瓦入金貳圓三十錢
送料 鮮內二錢 外三十錢

淫羊藿は古來有名なる藥草にして之れを服用する時は靈妙なる効驗ありと支那、朝鮮兩國人に愛用せられしが産出一地方に限られ高價人參の如く普く知られざれども其の効驗は遙に人參を凌駕すとて醫家の重用する所なり然るに如何なる成分が人體に有効なるかは彼の神秘的なる人參と同じく明白ならざるも本劑が殊に効能の顯著なる事は東醫寶鑑その他の醫書により明白なりとす而して斯かる有効なる藥草を一地方少數人士の使用に限るは國民保健上大なる損失と思料し精選したる原料より經驗に富める藥劑師がエキスとなしたるものなり

主効 神經衰弱症 貧血症 [illegible] 胃腸病 腦病 リウマチス ヒステリー ヒポコンデリー 老衰 精力減退
以上に依り適應症左の如し
(1)精力を盛んにし精神を爽かにし (2)精力を增し元氣を良くす (3)思考判斷及記憶力の減耗を癒す (4)讀書計算の疲勞を癒す (5)安眠し亦眼の疲れを癒す (6)筋骨の疼痛を癒し又疲勞を恢復す (7)消化及便通を良くす (8)産前産後及病後の衰弱に良し (9)血の道氣鬱症に良し (10)子なき人に良し (11)貧血虛弱を癒し皮膚を良くす (12)手足腰腿の冷ゆるに良し (13)陰萎遺精及子宮病に良し (14)痳癧に良し 長壽なるべし

全國一手販賣 朝鮮京城府太平通一丁目 合資會社 **京城日報社代理部** 電話長六〇〇九番 振替貯金口座京城三〇〇八

[illegible]の御下賜金一つには二年間十回の寄贈を以て[illegible]校舍の新築を合せて[illegible]が目下の所つのは早いも[illegible]學校に[illegible]になりました
ります、校舍が狹い爲めに思ふ樣に擴張させることの出來ないのは甚だ殘念に御座います然し此校舍が非常に狹隘を感じまして益々進んで將來は有望なる學校と認められる皆様方の御援助[illegible]
[illegible]五月で終りを告げる次第で御座います。此會[illegible]子女の爲めには非常に便利で御座いますから當年から本校も研究科として引續き經營致すこと[illegible]
山府尹君松兄三郎氏の主唱せる大正公園設立に贊し同興中へ金一千圓を寄附し四日東京本店より同府尹宛送金し來たりと（釜山）

◎遞信大勝す　四日午後二時よ[illegible]

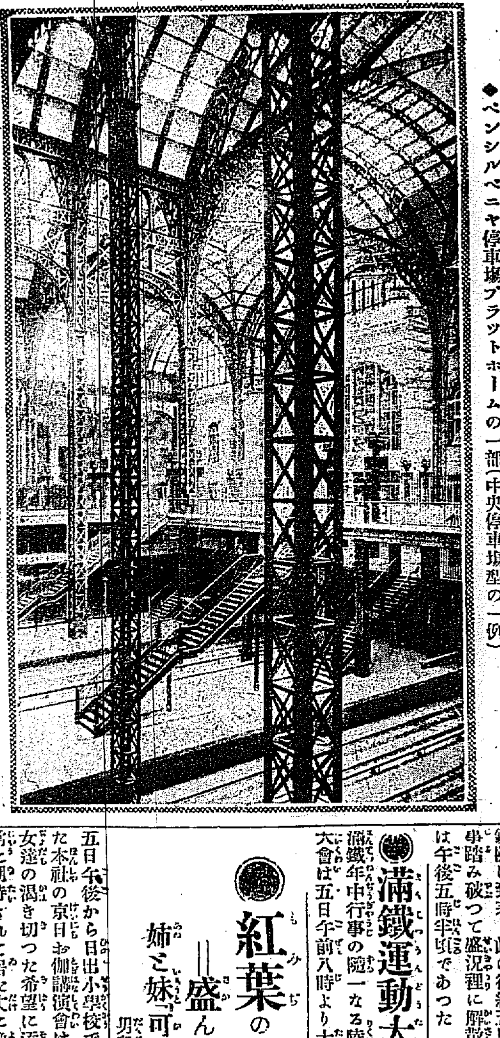
[illegible]

中央停車場問題

◆中央驛の形にしたい（下）

停車場に線路を直角に入れば橋を渡る必要がない

前宮內總督府廳舍新營主任總督府技師　國枝博氏談



◆ペンシルベニヤ停車場プラットホームの一部（中央停車場型の一例）

之は單に歐米の例を引いた理想の停車場で種々の關係上實行は至難であるかも知れないが何れの形式にしても

◆規模は充分に　大きくして置く必要がある殊に中央待合室は多人數集合する所であるから幾ら廣くても差支へ無い充分天井を高く通風をよくして新鮮な空氣を常に保つ樣構造せねばならぬ出入口は人と車とは別々にする必要がある今後は京城は自動車の數も增す事であらうし自動車で無く普通の人力車でも人の出入口に横付又は乘出す事は

◆混雜するのみ　ならず危險であるから之等に向つては別に口を設け度い紐育のペンシルバニヤ停車場等も全然區別して居る建物は至極簡單であつさりしてゐる、非常に横平たかつたりゴテ〳〵したのは感心せぬ內部は旅客が迷はぬ樣に明瞭にして各揭示を充分にし人に尋ねずとも獨で乘降の出來る樣にして欲しい

◆外國の停車場　は此の揭示が實に親切、丁寧反復を極め始めての旅行者でも少しも迷ふ事は無い私が桑港から紐育に赴く際改札口の上の時計を見ると丁度發車時刻なので大に狼狽した處が友人が周章なくても未だ早いと注意したのでよく見るとそれは次ぎの列車の發車時刻を示したもので本當の時計は其後ろにあつて三十分も餘裕のあるのに

◆安心した滑稽　もあつたが之れなどは行き屆き過ぎて田舍者が却て失敗した話であるが要するに南大門驛は將來京城も日本人が增すものと見て折角新築した建物が數年を出ですして狹隘を感ずる事の無い樣充分廣くして欲しいものである然し以上は敷地の關係など色々に制限されて唯だ口で云ふ樣に容易に實行は出來ぬであらうが趾に停車場としての希望を述べた次第である。

▼矢野氏の中央驛設備問題に就て

南大門驛長　一瀨武內（投）

中央停車場問題に付諸名士の高見が連日の紙上に揭載され吾等當事者に好參考を與へらるるは感謝の外ないが矢野遞信局監理課長の說に婦人待合所を設くるさ云ふ一瀨驛長の說には反對だ夫婦親子等を別室に別れしむるは旅客のため甚不便不都合は如何にも受取れぬ說である婦人待合室を設けるのは活動寫眞の男女席を別にして取締るのは意味が違ふ何も婦人室を設けたとて婦人は此室以外の待合に入る可らずと云ふのではない何れの室に入るも自由なるは云ふ迄もないが特に貴婦人紳士の婦人又は嬰兒を好まざる婦人等の爲めに設けるので夫れが爲めに便宜こそあれ不便を感ずることは毫もないと思はる尤も婦人室よりはより以上緊要の室を要するとか又は設計の都合上婦人室を取ることが出來ぬと云ふなれば別問題であるが不便であるから必要がないとは如何にしても受取れぬ說である歐米交通の要路に當る朝鮮線道に婦人待合室を設くるさ云ふ事は誠に適切の設備であると自信して居る敢て大方諸名士の敎を乞ふ

◎若葉の郊外へ遠乘會

三將軍以下百餘　總督纛島に一行を迎ふ

若葉の匂ひも芳ばしい、五月五日の好日に龍山偕行社の主催で乘馬の遠乘會を京城郊外で催ほされた、定刻前の午前九時半、龍山練兵場に集まつた會員

◈參加の勇士　は松川、立花、古海三將軍を初めとして步騎砲工輜重の各科並に憲兵軍醫、主計、朝鮮將校等の軍人各級を網羅して觀光帽影參差と聯なる騎馬姿夫れに乘馬服の鈴木長官、村田課長等の文官や民間乘馬黨の人々も參加して茲に百と二名を打つて丸めた總員四個班に編成した

◈最先導は園　田大尉が承はり、第一班は前記三中將を筆頭に主として少將級大佐級で二十名、第二班は中佐級と民間有志とで二十三名一團、第三班は少佐級大尉級で二十八名の一團、第四班は中少尉級で二十九名一團、別に最後尾三名といふ勢揃へ班毎に先導一名宛と定めて各班共二列縱隊の陣立が終ると轡を並べて鐵蹄輕く

◈威風堂々四　邊を拂うて第一班から順次馬首を梨泰院に向けて出發した、夫れより一行は裏南山の難險を踏破して午前十一時十五分光熙門外に達し、往十里街道を驀進して箭串橋を打渡り、栗園隧の纛島平野を過ぎて豫定の正午頃には纛島水源地に乘り込んだ、此所には自動車で先著の

◈長谷川總督　一行も居られて一しきり賑はひ一同歡談の裡に晝食を喫し少憩の上歸路に就いた、歸途は京元線路に沿うて清凉里に出で、電車線路を辿つて訓鍊院に到著、此の行約五里半を無事踏み破つて盛況裡に解散したのは午後五時半頃であつた

遠乘會　＝若葉の郊外＝　先頭松川將軍立花將軍鈴木度支部長官

◎滿鐵運動大會

滿鐵年中行事の隨一なる陸上運動大會は五日午前八時より大連西公園グランドに於て開催沿線各地及び中學、商業學校、工業學校、工科學堂等の各選手の競技六十四回擧行し午後五時閉會せり此日天氣晴朗沿線各地の內地人多數參觀し公園運動場の周圍を圍繞し盛會を極めたり（大連特電）

◎紅葉の樣な手を拍つて

＝盛んなりし京日お伽講演會

姉と妹『可哀相ね』『私泣いたわ』

男兒は男兒らしく少女は少女らしき歡び

五日午後から日出小學校で開催した本社の京日お伽講演會は少年少女達の渴き切つた希望に添うて非常に期待されて居た丈に豫想外の盛況で南山公園の午砲が轟好くドーンと響き渡ると、や來るは〳〵西からも東からも

◈◈澤山な　少年少女達が潮の如く會場さして殺到する中にはお祖父さんお祖母さんお父さんお母さんなどの手を引きながら早く〳〵と急き立て〳〵居るものも尠くない嬉し相な顏愉快氣な足取本社のお伽會が如何に歡迎されたか之でも判る、會場は講堂、定刻の一時前には最う小さな聽衆で一杯になり見渡す限りは美しい

◈◈リボン　の波、西瓜頭の山、そして端午の人形と引きぞわづらう程の愛らしい顏が集つた相にお伽噺を今か〳〵と待つて居る聽て樂しい〳〵耳正月の幕は切つて落された八島社員の開會の挨拶が濟んで愈々此日の花形龍山淚光先生が登壇すると小さな聽衆は一齊に

◈◈紅葉の　やうな手を拍いて之を迎へ先生が口を開くと最う哄手と大笑ひ。お噺は『孔雀』『醜い姉と妹』の三つで皆さも〳〵に面白い之を淚光先生が手を振つたり足を動かしたり變な聲色まで使つて久留島の叔父さんソツクリと云ふ態度で話して聽かせるので小さな聽衆は唯最う

◈◈大歡び　ノベツ幕なしに落せかける拍手の音はドツと起り笑ひ聲に混絡がつて耳も聾せんばかり肝腎のお噺も碌々聽き取れない。斯うして飽きず惓まず笑ひ通したが終りの『姉と妹』の哀れなお噺に純な少年少女は最終の淚をしぼりお噺が濟んでも却々起たうともしない、少女は流石に少女らしく『可哀相ね』『私泣いたわ』など囁き合つて居る無邪氣なものだ

◈◈お噺が　濟んだのは三時前少年少女達は勿論のこと附添ひのお祖父さんお祖母さんお父さんお母さん方まで大滿足で引き取つた豫て多少の自負はあつたが斯くも迄に歡迎されようとは夢にも思つて居なかつたし第一回の試みとしては非常な成功である

◎英人の自殺

東京芝白金三光町英人プライス氏（〇〇）は五日朝九時頃家人の不在中自宅六疊の間にて短刀にて腹部を切り更に咽喉部を突きしも死に切れず玄關に這出して苦悶し居たりしを發見東京病院にて手當を加へたるが間も無く死去せり家人不在の爲なる可しと（東京特電）

◎列車の衝突

五日午前二時東海道線御殿場驛にて貨物列車と旅客混合列車と衝突し機關車二輛、客車一輛脫線せり原因は濃霧にて信號を認むる能はざりし爲なり死傷無し（東京特電）

◎難破漁船救助

五名浪に漂ふ

香川縣大川郡小田村漁業松岡茂太郞外一名、川崎新太郞丸乘組源吉の五名は三日夜加德沖合に出漁し四日午前七時頃歸航の途中一ッ家の入口にて夜來の風雨に加ふるに激浪の爲め船體破壞され五名の漁夫は浪に吞まれて漂ひ居るを發見し洲坪田中造船所の大工は派出所に急報主人満氏は大工連を集めて救助船を出し無事五名を救助したり（釜山）

◎喊聲北漢山撼ぐ

鮮銀野遊會

新綠の景福宮後庭にて

五日景福宮の後庭は鮮銀野遊會の催しがあつて喊聲北漢山を撼がした、三方松林と新綠に圍まれた廣い芝生には、多くの天幕張りの役員席家族席樂隊席

▼▲しるこ　うどんそば糧食渡し擲などが設けられ行旗や萬國旗の驟雨なぞで却々賑やかだつた午前正九時競技開始正午三島會長の挨拶があり少時休憩午後二時半までに四十數回の色々の競技を續けたが、振つたのは傭員連のやつたヨカ〳〵節屋

▼▲虛無僧　やチゲや藝妓や乞食など樣々に變裝の意匠を凝らした競爭で次に三島片山兩理事吉井內兩局長外課長司事連全部の加はつた老骨提灯スプーン競爭は大喝采の裡に不破秘書役一著木村營業局司事二著高久第一課長三著と云ふ

▼▲成績で　三島片山井內飯泉島雄氏等の負けた連中は提灯がどうの蠟燭がどうのと可なり口賢しいやうであつた、それから最終の第四十一回各課選手競爭は營業出納應務支店國庫聯合の六組となり五百碼競爭をやつたが

▼▲國庫課　が優勝して優勝旗を受け飯泉課長の音頭で國庫課の萬歲を三唱した次で餘興が催された來會者は行員及び家族一千餘名に上り李王職樂隊全員の出場あり近來の盛んな面白い會であつた

◎高野氏奮戰して負傷

三井物產支店の庭球仕合開き

三井物產京城支店で設けた明治町[illegible]の庭球コート開きは[illegible]五日正午より擧行した、出場選手は京龍の官銀行會社の選手無慮八十八二十組の多きに上り初め三井社員の

◇競技　あり續いて三回試合十三回、五回競技七回を終り午後五時半に閉會したが當日の最高潮であつた、尙ほ當日第一の觀物は午後二時すぎ番外として出場した一試合である、それは高野三井店長と[illegible]次席が一組となり殖銀[illegible]と天野三井店長代理が一方に立つての競技であつた、初め

◇意氣　盛んなる天野組の方旗色勝り高野氏は形勢どうも振はない、乃で高野氏は大に憤慨して持合せの勇氣を數倍に彈め猪進の勢ひにラケットを振り飛鳥の如く馳せ廻つてゐたがどうした拍子か網の近くでモンドリ打つて横ざまに

◇倒れ　右手の小指と紅差と中指を可なりすり剝いた、然し店長は何のコレ式にと起きひろます滴々たる鮮血を見るや益々猛り立つて敵手に當つたので遂に高野側の勝に歸したが氏は直ちに本町の某醫院に出かけて繃帶をして來たテニス試合に於ける負傷者は先づ珍らしい當日は來賓として有賀三井理事安藤京管理課長等も其他庭球に興味を有つた一般人の觀覽が多かつた

◎慈善會へ寄附　東京女子大學[illegible]城支部開催慈善演奏會收入中より金五十圓を[illegible]高野ハマ子氏より寄附ありたりと

◎六十餘名行方不明

伊豫沖にて汽船相生丸沈沒す

學生八十餘名乘込居り

五日朝愛媛縣郡濱を發し廣島に向ひたる汽船相生丸は伊豫沖にて沈沒せるが乘客中に廣島縣安藝郡那邊尋常高等小學生八十餘名乘込居り百八十一名の乘客中六十餘名は行方不明にて小學校職員も右不明中にありと（大阪特電）

[illegible]妾となし居たりしが相姦女は[illegible]成の妾となる以前或男と關係して懷姙し居たるが去る二月の頃女子を分娩し妾の身分としては養ふ事[illegible]中に埋沒し置きたるを其筋に探知され四月二十日引致の上目下取調中なりと
[illegible]附近の河中に投じ同月卅日に至りて屍體を發見され兩人は殺人罪として其筋に引致されたり原因は生活難ならん

誰にも出來る　子宮病自宅療法

▲子宮內膜炎の症狀

良人から淋病が感染つたり月經中に風邪をひいたりすると、よく婦人方は急性の子宮內膜炎に罹るものです、其容態は最初頭痛や眩暈、逆上、肩の凝り等に次で月經が不順になり下腹や腰の邊が引吊るやうに痛み更に子宮が痛み出すと共に白帶下と稱してドロ〳〵した液の分泌物がします。然し人によつては惡感容態が少しも現はれずに唯だ少しばかりの白帶下と共に時々頭痛や眩暈がする位で大した苦痛のない人が有ます。けれども之は慢性と云つて病が永びき急性よりも却つて油斷のならぬものであります。一年も二年もブラ〳〵してゐてそれが重くなつて來ると精神にまで變化を起して氣が鬱に沈んだり浮いたり泣いたり怒つたり苦勞性になつたりする。其結果自分で苦しむばかりでなく遂には不姙症となつて一生子供が出來なくなる

▲之が不姙症の大原因

何故不姙症に陷るかと申せば子宮內膜炎によつて起る白帶下は猛烈なる酸性を帶びてゐてそれが男子の精虫を殺すからツマリ子種を絕つ事になるのです。ところが多くの婦人中にはこしけなど女に有りがちなものと思つたり、又は子供は神佛の授かり物だから人間の力で何とも出來ぬなど云つて手當もせずに抛ちかしておく人があります。これが抑もの考へ違ひで、原因を究めて病氣を治しさへすれば、子供の出來ないのです子宮の故障も癒さずに唯だ子供が欲しいと思つてもそれは木によつて魚を求むるよりも無理な注文です

▲恁うすれば子寶が得らる

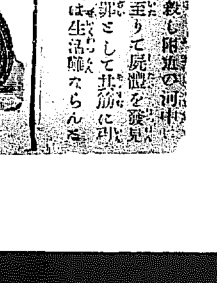
私は多年婦人病の研究に苦心してゐますので、此樣な間違つた考への起らぬやうに、どうすれば姙娠するか、又不姙の原因は何であるかと云ふことを充分に說明して一人でも多く婦人病者を救ひたいと云ふ志望から、先年婦人科の大家北島、佐藤、西森の三醫士と共に研究を重ねた結果『婦人病者の心得』といふ著書を公にして既に百萬人以上に御婦人に進呈致しました、此寫眞は其實驗者の例です。故に婦人病に惱まるゝ人、子なきに悶ゆる方々は此本を一讀すれば自分の病氣の原因から養生手當等が一目にして明瞭になります。そして其通り實行すれば他人に知らるゝ心配もなく何人も完全に自宅で治療が出來ます

東京市京橋區新榮町四の一（電話京橋一三二〇一番）
大阪北區本庄中野町（電話東一三三三番）

命の母本舖　笹岡省三藥房

本書御希望の方は右何れへか便宜の處へハガキ又は電話にて申込次第無代進呈す

新荷著　スイス製　懷中時計



懷中時計（▲印はラヂューム入）アンクル機械
腕卷時計（▲印はラヂューム付）
[illegible]

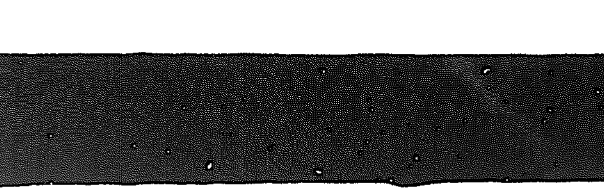
右は今回新着の商品にして本店へ御來店なき遠方の御方は代金引換小包郵便にて御注文に應じ申候

他に時計、蓄音器、ミシン機械、自轉車、洋酒各國直輸入商

イングレッシー商會
本店京城本町二丁目　電話九七二番

●非常に御待たせした　連續三十一卷
ミラの秘密
愈々今晚より上場　六日　黃金館

パイソン學生號萬年筆（九年間保證）
金貳圓八拾錢　送料鮮內無料外三十錢



五年以上の生命ある萬年筆とする試驗を[illegible]

發賣元　京城太平通電話桐內十八番　京城日報代理部　振替京城三〇〇番

花吹雪

大阪 中谷青霞

（二十二）

『待つたとは、名乘りもかけず、何者ぞ、疾う名を云へ面を見せよ。』と主税之助、柴折戸を一歩に、外編笠片手に蛇と身構へた。

『や、お事…は月岡の三二殿。』

『なー又しても邪魔な和郎、それツ一歩も動かすな。』と云ふ聲は柳川、星明りに透し見れば前に進める二三人の男は手下の駈け出し奴、香雨と兵馬は傲然と背後に突立ち眼を怒らす、さてはと主税之助眉を顰むる胸元へ、矢庭に武者振りつく二三人。

『無禮な奴、退れ。』

と一喝、利き腕取つて突放す、二三間だぢ／＼と退く隙を。

『唐土どのお身があつては事面倒、さゝ早く、祠を抜けて吉原へ……潜かに……それ。』

と主税之助、背後に匿うた唐土を木蔭れの闇に綾なう忍ばす、唐土は心得てつと姿の見ゑずなつたを氣附かぬ兵馬柳川の兩人。

『甲斐ない奴、三二殿は打捨てゝ踏込め、踏込め、ちらりと見ゑた女の影、必定寮の閭へと見た、それ早く、隈なう探がせ。』

と聲の下、駈出し奴の二三人は其儘、寮の閭へ駈けて入る。

『主税之助殿、建部の兵馬ぢや、唐土は揚げ代して某が自由、お身は何故寮の閭へ用もなくお這入りやつた。』

とぬつと身を進めて來た兵馬、柳川も後に引添ひ。

『この程は役もない了俊坊に妨げられ、逢引も得遂げず歸つたが、今日は揚げ代預けた此方の女、その儀では歸されぬ、さ誰人に斷つてこの内へはお這入りやつた。』

『はゝ金出したともあれ、人間の身體は七偶の坊ではござらぬ、ぞ主税之助が目前では沒道の自由許されぬ、遊女ともあれ天下の蒼生、呼び込まれ這入つた寮の閭、さゝそれが何うぢや。』

と急き込む折から。

『寮の閭隈もなう探しまいたが、見ゑませぬ……。』

と手を空うして生て來る奴共、柳川威丈高に。

『わー藻抜の殼か、抜つた奴め。』

『只女の童と媼一人……。』

『さては遁がしめさつたか。』

『おゝ遁がした、この主税之助が念なう遁がした、お事らの手には渡さぬわ。』

『何處へ遁した、さそれ聞かう。』

『知れた事、吉原仲萬字の抱へでないか。』

『むー、よし路は一筋吉原まで、それ奴共後を追へ、彼奴等のみでは心元ない、兵馬殿此場は打捨てゝ當の相手を……。』

『おゝ心得た。』

と兵馬、柳川、奴共の駈け行く後を一散に、續いて逐ひ行く小條の細道。

『ねーそれ追はしては……。』と主税之助、編笠打捨て驅出す。柳川が手下の奴共、兵馬香雨の二人をも遣り過ごして祠の蔭より。

『主税之助樣。』

と呼止めた唐土。

『ねツお身は其處にゐやつたか。』

『最う氣遣ひはござりませぬ。』

と二人はホツと息、顔見合して、につこと笑むだ。

◇活花と茶道

大阪支局にて 花月

二三日前京の街で切り下げに結つた未亡人姿の見馴れない女宗匠の話に『妾は京城から來ました』ハア、まづ池の坊が多く、未生も少しはあります』と

◆活花 では杜若が最も困難なる教養があるので諸國から今京都に修行に來てゐる、杜若に連れて鳶尾草、山吹なども出てゐる、山吹は活ける時に根を燒いて挿すと、長く保つものである、未亡人に聞くと

◆京城 にはヤハリ原賀宗匠は居るさうで、仁川、平壤からも現に京都に來て研究してゐる婦人がある、安東縣が尤も腕が揃つてゐるやうに思はれる、過日杏に赤の椿を根占にしたのを見て大分議論があつた、卽ち杏も木なれば

◆椿も 木である、木と木と同士で一方が根占になるとはとのことであつたが、掟に曰く、素と〳〵椿と躑躅などは、眞と副とが頑丈な物ならば根占、卽ち腰に付けて善い、また其れぐらゐの價値なものだとのことである、だから昨今は

◆松に 赤の椿の根占などが脅に多い、活花は第一に花形、第二に鍛錬、第三に理窟と言つて花形を調へるといふことが大切である、先頃某博士が花は自然を尊ぶべしと言つて改良意見を述べたら散々反駁されて了つた、近々

◆蓮の 葉を池から伐つて挿す、蓮は池中では花が高くて葉が低い、併し其れでは花器に活けて花形にならぬから、活ける時には各流共に葉を高くして花を低く活ける、卽ち自然に背いて花形を調へる場合と

◆自然 の儘に挿すのと兩方あるのを門外漢などに判りさうな筈がない、何しろ京都は二千年の昔から斯道を研究し盡してある櫻を活けたらば必らず、腿與と言つて、花器の一方に松の小枝を挿すのである、これは

◆松の 木の間の櫻を見ると言ふのであつて若しも櫻を活けて松の小枝を添へない人があつたらば其れは眞實の修業しない證據である、併し茶席には櫻は騷々しいと言つて活けぬ規定になつてゐる陽氣過ぎるといふのである

名聲いよ〳〵高く信用ます〳〵厚き
高麗人蔘エキス
京城府明治町一丁目 小笠原大藥房
支店 大阪市西區市岡町二七一 電話一九四八番 振替京城二七五三番

日報俳壇

■平壤オンドル會詠草 雲雀

支那人獸つて種卸す暮日の雲雀　鴨原
雲雀鳴く陽の眞下ヨボ等耕す　同
雲雀落ちし野の果の發電所の煙　同
雲雀啼く支那町の朝の靜けさ　同
籠の雲雀聽きつゝ髮を刈らせ居る　小發
雲雀たちて獨りつゝ人行けり　同
夕空に聲を揶つ草原の雲雀　同
雲雀落ちて親子殘る野の夕日　竹外
移日畑を打ち俛し空の雲雀　櫻水
足投げて憩ふ砂丘や夕雲雀　城山
雲雀降る夕餉を鑢夫等歸る　芳宙
物運ぶ人聲の空仄々と雲雀　同
雲の瀾く雲雀は聲を尖らせる　同

■南大門驛より永同驛まで　京城 岡村葭水

鐵橋を潛る巨船や春の風
膝の上の新聞に流る海陽哉
隧道や壺の電燈の暖き
貨車を卸し高積みる荷や柳の芽
枝移りす雀麗らや桐の苔

■品川灣のほとりにて　川崎 月窗

工場の雜音に住み夏近き
夏近き製陶工場の煙かな
一灣の漣光り夏近き

讀者の領分

▲京城の瓦斯會社の集金人位不遜なものはあるまい一二ヶ月も集金に來ずに居て突然出掛けて來ると惡言を吐き散らす會社では少し取締をせぬと市民攻擊の的となる事は受合何にも役所の仕事ではなし商賣だよう可時にするがよい（被害者の一人）▲山の手最高所の水道は平地の水道に比し出づる時二時間遲れ止まる時二時間早し故に朝に出て夕に歸る勤め人の如きは朝夕共に水を汲むこと能はざる惨めな狀態なれり、當局者は宜敷此の邊に留意し周到の注意を拂はざるべからず。實に人間の死活問題なり。吾人は無き水を出せとは註文せぬが、朝に於て二時間遲め夕に於て二時間遲くせられよ、而して其四時間の埋め合せとして、午前十一時より午後三時まで晝間に於て四時間の斷水を決行せば以て山の手人が渇死より救ひ得るなり。當局者たる者機宜の措置を施されんことを祈む（山手居住總代）▲旅館商店から上り坂の狹い旭町二丁目を銀行等の大い自動車が平氣で上て行くのは誰れも危險に思つて居た事だつたがさう〳〵此の間人を轢いた本町署長は嚴格公平の人さ聞くよろしく取締つて可なり（岡末生）▲私は只今或る學校に通學致すものですが當地に親戚知人の一人か有せず只今學校の寄宿舍に居りますが寄宿生の心が甚だ惡るく勉强の邪魔になりますので悲しくやうさ思ひますが前述の如く親戚知人が一人もなく困つて居りますがどなたか京城内で月九圓位で置いて下さる御親切な御方或はさる御方を御存知の御方があれば御手數ながら本欄で御一報下さいませ（一學生）

獨系米人排獨に傾く　米國の近狀

最初局外者は爾々想像したらんも現在の狀態は何等の憂患を認めず尤も米國政府は峻烈なる取締法を設け荷も交戰の趣旨に反せる行爲を……（以下判讀不能）

最新刊

櫻岳 藤戸計太著　總クロース金文字入八百五十頁　定價二圓　郵税内地十二錢 外三十錢

最新 朝鮮地理

一、本書は道府郡行政區域の改正後面里洞新設に依る最新の地理書にして志賀重昂先生卷頭序文の一節に曰く『本書は實に帝國希觀の朝鮮地理書也』と以て其一般を窺ふに足る

一、本書は第一編全道第二編各道第三編各地に分類し沿革位置境界、地勢、氣候、産物、人種族制、民籍、戶口、言語、文字、風俗、宗教、教育、衣食住、行政財政、經濟、產業、交通は勿論著名山河、島港灣、官公署、學校、會社、銀行、神社、佛閣、嚴碑、町名、名所、舊蹟古戰場、溫泉等を詳記し加ふるに農商工業及金融商業に關する實用的各種の參考表を以てせり

一、本書は附錄として附アイウエオ別道府郡島面索引及內地、臺灣、關東州、樺太の地名表及五十音別目次を追加し母國殖民地間の連絡を知らしめ母子國間連續旅行者の便を計れり

一、本書は內鮮人を問はず官民を論ぜず朝鮮に於て公私諸般の事に從ふ士の執務上必要なるは勿論事業經營上の最良指導者たり旅行者の最新案內者なり

一、本書は各種學校各官衙、各銀行、各會社に最も關係多き著名地の必要なる各般の事項を蒐集せるを以て各官衙各銀行會社及各種學校講習會の良參考書なり

一、本書地名には朝鮮諺文を附し、日本假名を以て內鮮音讀を附加し國語朝鮮語の連絡を知るに便し引いて字音の關係に依り內鮮關係の密接なるを明白ならしめたり

一、本書資料正確周到にして序次懇切を極め詩歌を各所に配し讀者をして多趣ならしめ大方の期待渴望に負かさらんことを期せり誠に空前の好著なりとす朝鮮の事情を研究し半島の實情に精通せんとする有志者は速に本書を購求して座右に備へられんことを望む朝鮮地理の蘊奥は本書に依りて腦裏に蓄積せらるむ

發行所 京城太平通二丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部

新舊對照 朝鮮全道府郡面里洞名稱一覽

總クロース金文字入菊版千百五十頁定價金三圓郵税十八錢

司法大臣 松室致閣下題字　法政大學校友 京城地方法院所屬辯護士法學士 加古貞太郎先生序文　關西大學校友 前韓國財政顧問附財務官 小笠原寬先生序文　越智唯七編纂　發賣元 京城日報社代理部

大正七年一月一日現在正誤表附 本書は府郡廢合の整理と既に結了したる土地調査局の調査により確定したる朝鮮全道の行政區域の新舊を對照し錯綜混雜せる沿革を明にしたるもの

詳細に對照年號を示し一目瞭然たらしむ道、府、郡、島、廳及面事務所の所在地を示し末尾に朝鮮の沿革、日鮮、清、西曆の對照年號を示し管區數、人口、戶數、道路里數、各道の廣袤、交通、產物名稱、舊蹟、溫泉其他の概況を掲げ本書は官廳執務上を初め政治家、實業家、學者、交通、產業其の他荷も朝鮮に關係を有し朝鮮に精通せむとする士の須臾も缺くへからさるの必携書なり

京城龍山等各地に僞物有御注意 詳細は昨日の本紙を御覽

りん病は毒 患者諸君 Ｄにせドラッグあり注意

近來京城其他各地に於てトラツクの商號を盜用せられざる樣御用心あれ當京城に於ても左記以外にドラツク商會と稱するものあらはそは全く吾が商號を盜用する詐欺漢なり　切に患者諸君の御注意を乞ふ

本舖大阪 ドラツク商會
京城南大門外停車場通 ドラツク商會 本部 滿野
花柳病専門藥房 電話二五六七番・振替京城四六七番
京城黃金町三丁目電車通 龍山錦町四丁目停留所前 同 支店 大阪ドラツク商會

消化と毒けし 糧に仁丹 消化良好 菖蒲酒に仁丹 氣持よし

仁丹

新發賣 金言容器及名所カード 仁丹廿錢入包に添附

金言 著手の前に成功なし（西諺）

最上醤油

朝鮮仁川花町 高杉醤油醸造場

大阪商船株式會社 汽船出帆廣告

仁川出帆

神戶、大阪行
△汕頭丸 五月四日 後五時出
△日清丸 五月九日 後五時出
△日清丸 五月卅一日 後五時出
◎群山、神戶、大阪行 △南部丸 月 日 後五時出

元山出帆

◎西湖津、新浦、城津、淸津行 宮島丸 五月四日 後十二時
◎釜山、門司、宇品、神戶、大阪行 安平丸 五月十二日 後九時出

大連出帆

◎上海、基隆、打狗行 湖北丸 五月十二日 前六時出
須磨丸 五月四日 前六時出

內地各港出帆主要航路

歐洲行 一年四回
南米行 一年四回
濠洲行 毎月一回
北米行 毎月二回
孟買行 毎月二回
南洋行 毎月一回

御注意 ◎外航所要航路（近行航路ヲ除ク）ハ出帆日時ハ都合ニ依リ變更スルコトアルベシ

大阪商船株式會社仁川支店 電話一番二一〇番五九〇番
仁川切符發賣所 仁川京城通り
京城切符發賣所 京城旭町二丁目 日鮮組 電話四二番
龍山 仁川港町一丁目 支店 電話七二番

汽船 釜山出帆廣告

○門司、神戶、大阪行 和歌浦丸 月 日後五時出
立神丸 月 日後五時出
○元山、淸津、浦鹽行 和歌浦丸 月 日後十時出
立神丸 月 日後四時出
○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行 天與丸 毎月二日九日十四日廿一日廿六日 午後十時出帆
○元山、西湖、新浦、城津、淸津行 第三眞平丸 四月 日後六時出
○門司、宇品、神戶、大阪行 第三眞平丸 四月 日後六時出
本社 釜山港埋立新町 大池回漕部

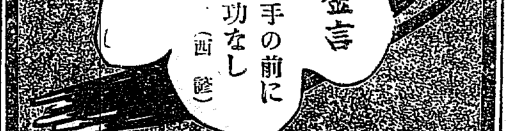
金泉 乃城 間自動車著發時刻

下り	一番	二番
金泉發	[illegible]	[illegible]
玉山發	[illegible]	[illegible]
尙州發	[illegible]	[illegible]
咸昌發	[illegible]	[illegible]
龍宮發	[illegible]	[illegible]
醴泉發	[illegible]	[illegible]
榮州發	[illegible]	[illegible]
乃城著	[illegible]	[illegible]

上り	一番	二番	三番
乃城發	[illegible]	[illegible]	[illegible]
榮州發	[illegible]	[illegible]	[illegible]
醴泉發	[illegible]	[illegible]	[illegible]
龍宮發	[illegible]	[illegible]	[illegible]
咸昌發	[illegible]	[illegible]	[illegible]
尙州發	[illegible]	[illegible]	[illegible]
玉山發	[illegible]	[illegible]	[illegible]
金泉著	[illegible]	[illegible]	[illegible]

・は午前 ・は午後
▲小荷物輸送も取扱仕候
織居自動車部金泉支部 金泉電話四八番

最新流行 時間正確



新荷著 純ニッケル側十二形アンクル腕卷 堅牢無比 金拾壹圓
▲瑞西國製 七寶裝飾入 特價金七圓
腕專用にして貴婦人用男子用に敵し最も優美尙ほ金銀側懷中時計最新流行品取揃居候
京城太平通一丁目 京日代理部 振替京城三〇〇番

朝鮮郵船 出帆

○敦賀行 平壤丸 五月六日 淸津發城津元山經由
○浦潮行 平安丸 五月十六日 釜山元山城津淸津經由
○浦潮行 五月十四日 五月十六日 釜山發
○雄基行 五月十五日 五月十八日 元山發
×慶興丸 五月八日 五月十八日 釜山發
忠淸丸
○元山雄基線 鏡城丸 五月 日 元山發
○大阪行 山陽丸 五月十二日 釜山發
×慶興山丸 五月 日 元山
○關門行 成鏡丸 五月九日 五月十六日
○金剛山遊覽便
○釜山浦項線 盈德丸 五月八日 釜山發
○濟州島行 江陵丸 昌平丸 五月十一日 釜山發
○濟州島行 木浦發
○東海岸線 公州丸 五月九日 五月十二日 木浦發
○釜山麗水線 海州丸 巨濟丸 統營丸 毎日
○木浦麗水線 順天丸 五月八日 木浦發
○多島海行 公州丸 五月十四日 木浦發
○木浦行 晉州丸 五月九日 仁川發
○錦江丸 海州行 南陽丸 毎日一回 仁川發
○鎭南浦行 全州丸 五月 八日 仁川發
○靑島行 江原丸 五月 八日 仁川發
○鎭南浦大連直行線 宗信丸 五月十日 鎭南浦發
本社 京城南大門通（電話一九五、一三二） 釜山支店 元山支店 釜山港佐藤町 元山港 仁川港代理店 仁川港 木浦港代理店 京城荷客取扱店 京城南大門驛前 松原運送店
（其他各寄港地ニ荷客取扱店アリ）

共同汽船 仁川出帆

阿波共同汽船 青島直行 共同丸 五月十日 午前
本町四丁目（電話一七三番） 仁川代理店 野口商會
元山代理店 春日町（電話二四七番） 野口商會
京城南大門 電話二七〇八二 河村運送店

尼崎汽船 仁川出帆

群山、木浦、釜山、下關、神戶、大阪行
神代丸 五月十二日 後四時
秀吉丸 五月 日 後四時
君代丸 五月八日 後四時
大有丸 五月六日 後四時
仁川海岸通二丁目 高杉回漕店 電話十九番

日本郵船 仁川出帆

◎大連、芝罘、天津行
相模丸 五月十日
三河丸 五月二十日
高砂丸 五月三十日 正午
仁川海岸通 電話十一番 堀回漕店